汽車時間表(七月十日改正)

十五日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金四拾錢
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話 編輯局 營業部 振替貯金口座京城

◎協約發表前と英國
日露兩國に滿足の意を表す

英國下院に於て外務次官セシル卿は質問に對して曰く日露協約の條項は其の發表前密かに日本政府より英國政府に通告せられたり依つて英國政府は日露兩國に對し同協約に滿足の意を表したるが此の外に日露兩國間に何等文書の往復したる事なし(倫敦電報)

◎蒙匪洮南に薄る
勢ひ猛烈にして應援兵を出す

蒙匪巴布札布は目下洮南の境に迫り吳鎭守使は黑龍江省の兵と挾撃中なるが匪軍猛烈なるを以て更に奉天第二十七師より應援を派遣應援せしむ(奉天特電)

◎米財團加入と英の斡旋

米國の五國財團加入は承認せらるゝに至るべし英國は熱心に米國を勸誘する一面五國財團側に對し斡旋の勞を執りつゝあり(東京電報)

◎財團米國參加と帝國(回答)

五國財團に新たに米國を參加せしめ獨逸を斥くるの議は帝國に於ても何等異論なければ近く右の回答を發す可しと(東京電報)

◎段國務南方の主張を容る

段國務卿は南方の主張を容れ自己の地位を確保するに努めつゝあり其結果として張勳倪嗣冲等の武斷派と反目するに至れり(東京電報)

◎獨立艦隊の加入強要

福建督軍李厚基氏は中央政府に宛て上海獨立艦隊が演習の名の下に福建沿岸に來り三夕(三沙?)灣に繋留し昨夜第二艦隊に加入を強要する形跡あり上海艦隊の行動は之を監視されたしと請願せり(北京特電)

◎ソンム北第二線突破

倫敦來電に曰く英軍は七月十四日未明ソンムの北方に於ける四哩の戰線に於て獨軍の第二線を突破し堅固なる築壘陣地數個を占領せり(紐育電報)

◎英佛軍協同大突撃

英佛兩軍は協同して近く敵軍に對し大突撃を加ふ可く畫策中なりとの報あり(東京電報)

◎墺勃兵抑留さる

墺勃軍の脫走兵九千羅馬尼に抑留さる(倫敦電報)

◎戰時の歐洲行政
調査結果近く發表

內務省は戰時歐洲列强の行政及び民心の趨向に關し鋭意調査中なるが其結果は近く發表を見るに至る可く猶右に關聯して外務省に依囑し一貫せる行政資料を蒐集しつゝあり(東京電報)

◎英銀割引利率引上

英蘭銀行公定割引利率は六分に引き上げられたり(倫敦電報)

◎遣露隨員人選

遣露使節宮殿下隨行員は目下人選中にして其筋にては入京中の寺內總督に交涉中なるが露國側は日露協會長たる寺內總督の派遣を熱望しつゝありと(東京電報)

◎來年度豫算概算書

來年度豫算概算書は各省及び特別會計共既に大半大藏省に送附せられたり(東京電報)

◎觀賀發起人會

京城に於ける日露協約祝賀の準備は着々委員の手に於て進捗し發起人の人選には官邊の石塚農商工部長官小松翰長、金谷府尹を始とし吉原勝田の兩總裁、原田商議會頭、鮮人側の趙子爵新聞通信社側より阿部小幡の各發起人を出すこととなり十六日午前九時より京城府に於て第一回の發起人會を開き祝賀會に關する諸般の打合を爲し卽時に全部を決定して準備に着手する由なり期日は既報の如く(東京と同樣二十日と決定するに至る可く此の祝會は單に官民聯合の祝宴を開きたる上兩國民の萬歲と協約成立を祝し席上京城官民聯合祝賀會の名を以て東京なる露國大使に對し祝電を發するに止め提灯行列等は別に民間有志の計畫に一任すべしと

◎兒玉局長東上

兒玉總務局長は東拓法改正其の他の件に付き十四日午後七時五十分南大門驛發汽車にて東上黑田囑託も同行したり

◎市街整理委員會

京城市街整理委員會は十五日午前十一時より總督府に於て例會を開會したり當日は持地委員長を始め坂出、山岡兩技師金谷府尹其の他土木關係者十數名出席し豫ねて宿題となり居れる下水溝開設及び之に伴ふ各種の施設事項に關し打合す所ありたるが金谷府尹は下水溝開設に關し京城府の財源調査の結果を報告し山岡技師は亦同工事設計者として逐次說明する所あり正午過ぎ散會したり

◎鈴木局長出發

西北鮮地方に於ける測地地形事務視察の爲め鈴木土地調査局長は尾石監査官以下兩名を隨へ十五日午前九時二十分發先づ元山に向へり

◎水上警察講習會

警務總監部にては七月一日より沿岸警察巡查及び憲兵を召集して京城憲兵分隊集會講室に於て水上警察講習會を開催中なりしが十五日午後二時講習を終了せり十六日午前は昌德宮を觀覧し十七日午前十時京城憲兵分隊講堂に於て講習修業證書授與式を擧行し一、證書授與二、永谷警務課長の講習事務報告三、來賓訓示四、古海總長訓示五、優等生賞與授與、記念撮影等あり終りて總長より一同に對して茶菓の饗應ある可しと

◎勝田鮮銀總裁

朝鮮銀行總裁勝田主計氏は定時總會臨席其他の要務を帶び十六日午後七時五十分南大門驛發東京に直行する事に決定せしが隨員は大原秘書役是永書記の兩氏なるも大原氏は釜山迄總裁と同行するのみにて直ちに引返し月末若くは八月初旬更に出發東上の豫定なりと

◎哈市開店と當務員

豫て哈爾賓埠頭區ツチヤウスト、コーワ街に開業準備中なりし朝鮮銀行支店は既報の如く十五日より開業せしが店長及び店員は店長副司事阿部議次郎鈴木商太郎堀越率等の諸氏なりと

◎岡京電專務東上

京城電氣專務岡正矣氏は株主總會臨席の爲め十六日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上の途に就く由なるが目下入京中の同社監查役平澤道次氏も岡氏と同行の由

◎仁川築港現況

仁川築港工程は其後益々進捗し最早全體に於て八分通りの竣工を見たり今其大體に就て記せば目下工事中の航路の浚渫は明後年に涉るべく繋船壁は全部竣功せりベーシンの掘鑿は略々出來上り今後一二箇月を經ば竣成を見る可き都合にして又閘門は目今約五分通りの出來型にして今年度中には竣工すべく其扉は明年度に於て組立をなすべく倘今明兩年度は閘門外方の掘鑿をなし終れば本工事は大體に於て竣功を告ぐるものなるも航路の浚渫のみは明後年度に涉るべく陸上に於ける道路等の設備は今年中に着手して明年中には全部出來の見込になり之を總括すれば前記の如く八分の出來型にして全工事の竣工を見るは明後七年度に入るべし(永井土木局出張所長談)

◎价川輕鐵認可

京義線新安州价川間輕鐵(鈴木四郎氏經營)は這般營業運輸の認可を受けしが其後當局の檢査も濟み本月十五日附本運輸開始の認可を受けたり

◎大田協會發會式

十四日午後六時より大田實業協會發會式を富士屋に擧行したるが商業組合大野理事諸般報告をなすと同時に內藤組合長病氣缺席せしを以て代理として解散式を行ひ辻副會長より實業協會創立の經過報告を爲し澁谷大吉氏會長就任挨拶及び開會の辭を述べ澁谷第一部長は小原長官代理として祝辭朗讀齋藤部長代理鈴岡副官の祝詞演說ありて開宴澁谷第一部長の祝詞演說あり來賓及び會員出席者八十餘名十時散會せり

◎關屋局長賜暇

學務局長關屋貞三郎氏は十六日朝南大門驛發汽車にて別府に賜暇休養の筈

◎入見課長歸任

東上中なりし入見農務課長は十五日夜南大門驛著汽車にて歸任、二十日渡歐の途に就く可し

◎關口檢事正赴任

公州地方法院檢事正より平壤地方法院檢事正に轉任せる關口半氏は十四日午後一時公州出發赴任の途に就けり官民の見送頗る盛んなりき(公州)

◎辭令

七月十四日附を以て左の通り辭令ありたり

任朝鮮總督府鐵道局技師 敍高等官七等 朝鮮總督府技手 八木錚吉

任朝鮮總督府平壤鑛業所技師 敍高等官七等 朝鮮總督府平壤鑛業所技手 內田鎭五郎

◎協同傳道は今秋
植村氏來京の使命

今秋京城に於て開會の豫定なりし基督敎各派協同傳道に就ては十四日午後二時より南米倉町渡邊暢氏方に於て委員會を開會し各教會より三名宛の委員列席の上此程協同傳道の交涉委員として入京したる植村正久氏と種々協議を遂げたる結果愈々來る九月二日より同十二日迄全鮮に亙り協同傳道を行ふこととなり內二日より五日迄を京城の各敎會に於て順次舉行することに決定同四時散會せり、之に出演す可き傳道講演者の人選に就ては今後尙ほ當事者と交涉を經るに非ざれば確定せざるものなれども當日の席上に於いて略豫定されたる人々は大阪敎會牧師宮川經輝、東北學院長笹尾粂太郎、鎭西學院長鵜崎庚五郎、貴族院議員江原素六氏等の各名士にして若し鵜崎氏の出演不能の場合は青山學院長高木壬太郎氏に依賴する筈なりと右に就き前記の各敎會委員等は日本基督敎會の渡邊暢氏を委員長とし其他二三の當務委員を設け今後時々委員會を開きて諸般の準備を整ふ可しと

◎植村牧師歸東

鮮滿協同傳道の打合せの要務を帶び北京に赴き歸東の途入京中なりし東京富士見町敎會牧師植村正久氏は十四日夜長谷川町日本基督敎會にて說敎會を催し同夜は龍山に到り一泊十五日午前八時四十分龍山發歸東の途に就けるが十五日夜は大邱に一泊、十六日朝釜山に到り一泊の上十七日朝釜山發の連絡船にて東上の筈なりと

◎女高師範生入京

東京女子高等師範學校生徒敎師十八名は別項記載の如く十五日朝南大門驛著汽車にて入京、京城印刷所宗像氏宅に投せり、同校敎諭岩太郎氏は一同を代表して同日午前總督府に關屋學務局長同副課長等を訪へるが一行は十六日仁川に赴き十七日は京城市內及び諸學校を參觀し午後四時より女子高等普通學校に於ける同窓生の歡迎會に臨み十八日朝南大門驛發汽車にて平壤に向ひ一泊の上十九日安東縣經由奉天方面に赴く筈なり

仁川

▲料理業者移轉 仁川敷島町に存在せし鮮人營業の料理店十戶は全部新築の上廓內に移轉し引續き乙種料理店(貸座敷營業)を開業する事となりたり ▲海軍兵來去 鎭海海要港部海軍兵の中十五名は今般夏期休暇を得て十三日海路來仁市中を見物し今夕拇晩發京城へ向へり ▲坂出技師視察 總督府技師坂出鳴海氏は十七日午前來仁し永井土木局仁川出張所長の案內にて築港工事狀況其他一般を視察する筈なり ▲仁川商議評議員會 仁川商業會議所第五次評議員會を十八日午後一時より開會し前會に於て議決を見る能はざりし定款變更及び會計年度更正の件を附議すべし

元山

▲井出經理部長 十二日朝總城丸にて長崎より來著せる駐箚軍經理部長井出主計監は十三、十四の兩日に涉り元山各部隊を檢閱せり ▲商議役員選擧 元山新商業會議所第一回の評議員會は準備の都合上豫定より延期し愈々十五日午後一時より開催の上會頭の互選を行ふ ▲判事後任決定 元山地方法院支廳に於ては小林判事辭職歸鄕後其後任詮議中なりしが淸津支廳在勤の肥田健吉氏と決定し近々著任の筈なり ▲敎員の轉勤 元山公立尋常高等小學校長栗島八五郎氏は近々永興公立普通學校に轉任の由なるが公立普通學校訓導藤木とくも咸北吉州普通學校に轉任と決し兩三日中に赴任すべしと ▲船橋設置計畫 元山驛に於ては旅客の乘降頻繁なるに伴ひ構內に船橋の必要を感ずるに至り之れが計畫中なりしが不日決定の上來る九月頃までには工事に著手する由

大田

▲驛發貨數 農家の繁忙と降雨の爲め商家の不振は驛貨に及ぼし前月に比し減少を見たるが發貨總噸數は二千三百六十八噸餘重なるものは米にて六百十一噸仕向け地元山三百二十二噸、釜山七十四噸、仁川百三噸、京城九十二噸なり ▲寺院主任更迭 久納淨土宗開敎師は仁川に轉任後任として不倫開敎師十三日著任眞宗本派本願寺秋山開敎主任は今回山口縣に轉任十三日出發赴任後任天野開敎師著任せり ▲大內氏逝去 興業株式會社大田管理署主任大內仁見氏は病氣療養の爲歸還中なりしが十三日鄕里にて逝去せし旨電報ありたり ▲人事往來 谷忠南第一部長鈴岡副官大島總督府土木技師中田忠南土木技手は協會發會式參列の爲め來田十五日何れも歸任せり ▲輕鐵開通 全北輕鐵は修築完成せんとして又不通となりたるが十五日より漸く開通する事となれり

光州

▲分監會議 光州監獄に於ては管內木浦群山全州の各分監長召集十二日より會議を開けり ▲水害道路復舊 本道內に於ける一二等道路並に橋梁にして出水の爲め缺潰破損せる箇所尠なからず先般來道土木係員を派して實地踏查中なりしが今回全部調査濟となれるを以て直に設計書作成復舊工事に著手すべし ▲長官理事招待 宮本長官は十四日道會議室に入光中の金融組合理事廿二名を招待し茶話會を催すべし ▲搜查實測演習 警務部會議室にて講習會開會中の道內各署隊所司法主任は十四十五兩日模擬犯人を放ちて犯人搜查實務演習を催す ▲伊藤大隊長急行 全北茂長第五中隊長大尉自殺事件の爲め光州伊藤第三大隊長は十一日同地へ急行せり ▲安原騎隊長 は光州第八中隊の檢閲を終りて十二日朝全州へ向け出發せり ▲繁榮會復興 光州繁榮會は一時會員數十名を有し每月例會を開き居たるも其後自然衰微して今日は殆んど其存在を認められず實に繁榮會は消滅の有樣となり居たりしが今回鈴木光州署長の斡旋にて再興を計りつゝあれば近く再興さるゝに至るべし ▲農銀定期總會 光州農銀定期決算を終りたるを以て十五日株主總會を開けり ▲金融組合會議 は十日より十四日迄開會せしが十四日第二部長の指示道長官の訓示ありて終了せり

木浦

▲客月銀行成績 當地三銀行の客月帳尻を見るに預金預け高九十萬二千四百九十九圓同拂戾高八十五萬五千十一圓貸金は貸出四七一萬九千四百七十三圓回收四十七萬五千六百〇七圓手形は仕向高三十萬四百二十八圓被仕向高二十五萬五千二百九十三圓にして月末現在は預金百三十九萬四千七百七十三圓貸出七十一萬六千〇六十圓なりと ▲海草回著高 六月中の當港海草回著高は鼻布一千六百五十九斤並布五萬八千九百九十二斤天草一萬一千三百二十二斤櫻草一千八百三十二斤銀杏草九千五百十斤イギス二千六百零九斤計八萬五千九百二十八斤にして昨年の同年の十三萬九千四百五十二斤に比すれば五萬三千五百餘斤の減少なり ▲送迎經濟會 木浦經濟會は十五日木浦ホテルに於て例會を兼ね今回黃州へ轉任の目黑興業會社主任及び過般來任の堀井鐵道局參事補岡部同保線長の送迎晚餐會を開催すべし

釜山

▲露國大使謝電 去る十三日夜開催の釜山官民合同日露協約祝賀會にては席上大隈首相石井外相並に駐日露國大使に對し祝電を發したるに去る十四日午後露國大使より「御祝電を感謝す」との謝電ありたり ▲組合債の償還 釜山學校組合にては同組合債元金三萬七千九百十五圓の內大正六年六月廿五日限り返濟すべき元金六千八十五圓と是に對する半箇月分の利子金十八圓九十五錢は都合に依り其の返濟期を繰上げ去る十四日朝鮮銀行に支拂ひたりと ▲高商生徒來釜 大阪高等商業學校生徒十七名及び敎員二名は去る十四日夜連絡船にて釜山に上陸し同夜同地に一泊の上翌十五日京城に向ひたり

人事消息

▲宇佐美內務部長官 十五日夜歸京の筈
▲大窪海軍大尉外十四名 十四日夜入京滿尾へ
▲非時枡一氏(濟州島慈惠醫院長) 十四日夜入京不知火へ
▲北畠德不氏(警務部々會議員) 同上
▲立花敎氏(東京[illegible]) 同上
▲鵜山義帝氏(東京建物天神支店長) 十四日夜入京山本旅館へ
▲牛島光之氏(陸軍中尉) 入京中の處十四日夜退京
▲デーヤー夫人(米人)▲エスドル氏▲コリシ氏▲タイロー氏夫妻(以上英人) 十四日夜入京朝鮮ホテル
▲坂出鳴海氏(土木局技師) 閘門工事視察の爲め十七日仁川に出張
▲中山勝之助氏(大邱覆審法院長) 十五日上京を命ぜらる
▲大垣丈夫氏(京城通信社長) 鎭海へ旅行中の處十五日朝歸京
▲白水城氏(京城辯護士) 十五日退京
▲豐田四郎氏(土地調査局技術課長) 數日中に金剛山方面の地形測量狀況視察に向ふべし

金剛山吟句(上) 台水

駈歩中に道草を喰て安藤君の提灯を持つ

末輝里より長安寺に至る
ところどころ畑に積む石の朝霧

長安寺
此寺よ二千年來の飴湯あり

表訓寺
行間の雲水畑の草を取る

萬瀑洞
丸木橋を繋ぐ岩垢に蛙活く

[illegible]
芍藥の咲く寺金剛杖を賣る

白雲台途上
椨なり大樹茂れる異な鳥が

白雲台
鐵鎖攀ぢて峯の及渡り汗を引く

溫井嶺二句
海に入る河見ゆ百合根こゝせ
いよいよの饒衙を賣る海見ゆ

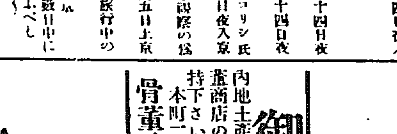
英國へ貨物輸入ニ關シ告知

英本國ヘ輸入ノ貨物ニ對シテハ其大小價額ノ如何ニ拘ハラズ凡テ證明書ヲ要スルコトトナルヘシ其期日ハ不日發表セラルヘシ小包郵便ニ依ルモノ亦同シ
英本國以外ノ地ヘ輸送セラル、貨物ニ對シテハ證明書提出ノ規定ナシト雖モ英國船ニテ輸送スルトキハ其船主又ハ船長ハ證明書ノ提出ヲ要求スルコトアルヘシ
證明書ハ京城英國總領事館ニ就キ求メラルヘシ手數料一件ニ付金貳圓五拾錢ヲ要ス
大正五年七月十五日
京城駐在英國總領事

●南鮮出張
性相學講演の爲め本日より向二週間の豫定にて大邱及太田地方へ出張仕候也
大正五年七月十四日
東京性相學會朝鮮支部
主幹 隈本修平

代理店變更廣告
幹社舊來の仁川代理店(仁川宮町八田利三郎殿)を都合に依り今般左記へ變更致候間此段廣告候也
仁川代理店 仁川海岸町三丁目 淺松太郎殿 電話(二二)(二三)長一四一番
太平生命保險株式會社

御土產物
內地土產は本町電氣會社前の伊藤骨董商店のヒスイ及高麗燒を御持下さい價格は精々勉强致します
本町二電氣會社前(電話九九四番)
骨董商 伊藤寶古堂



長壽藥品は ヨーグルト
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話二〇四番
滋養・健康に 荒井の牛乳

御案內 遊漁船
釣道具 御小賣
仁川海岸町三丁目角 芹川漁具店 電話七五四番

◎漂蕩たる新支那の氣脈

北よりも南に＝植村正久氏談

支那に行つたと言つてもホンの北京に一泊して來た位のもので到底も話す程の事も無い。何分にも尨大な國で國民の數も多いのだし仲々どうして瞥見で眞相を摑む事など出來たものではない

◇支那人を猶太人◇

と較べて共に金錢に對する執着の強い處に類似點を發見されるが然し此兩民族には全く相反した點があると思ふ。猶太人には非常な大富豪があるが然し支那人には其れが殆んど無い。今日支那にはロスチャイルド程の大富豪があることは話しも未だ聞かない。であらうが此金錢を愛する支那人に大富豪の出ない事は怎麼譯だらう。素より私達の知り得る限りでもあるまいが之などは組織的に研究して行つたら頗る

◇興味のある問題◇

だらうと思ふ。成程印度は餘りに非現世的宗教の爲めに滅び、支那は極端に現實的、物質的な情落の爲めに國家の衰退を來した。古來支那にも孔孟老莊其他の偉大な思想家が出たが總て現實的な傾向を帶びてゐる殊に老子の思想の如きは面白いと思ふ。如何にして自己を全ふして世に處すべきかと言ふ考案に甚大な力を盡してゐる。然し支那は如何にも老大國である。私は

◇此老大國の何處◇

やらにそこはかとなく漂蕩してゐるヤング・チャイナの氣脈を感じ得る樣な氣がする。支那と最もよく對照せらるゝ老大國土耳古の最近史に一脈の活氣を添へたとも云ふべき青年土耳古黨の樣に、老支那の中に漂ふてゐるヤング、チャイナが發芽して力を發すべきか否かは素より大問題であつて決して一言に斷じ得べからざる事ではあるが、怎も其處に何等か在來のものとは

◇特異な或る素質◇

のあるらしい事は確かに感得し得る事だと思ふ。其或るものは北方よりも南方に濃い樣に思はれる。廣東あたりには仲々新しい思想がある。其れが一足飛びに數階段を乘り超ねてる樣に思はれる。日本なぞでも流行つた所謂共同生活は廣東邊には頻りに實現せられてゐる。好いた同士が好いた間丈け一緒になつて倦きると別れると云ふ

◇社會主義の理想◇

の樣な……其れから革命軍に娘子軍のあつた如き是等の寧ろ突飛な思想は大抵米國あたりから侵入つて來たのだろう。夫れも米國人が持つて來たと云ふのではなくて留學生が攜帶して來るのだ。甚麼事情で無く各方面に亙つてヤング、チャイナの氣が南方支那には濃く漂ふてゐる樣だ支那人は金錢にのみ仕へて愛國心がない樣に言はれてゐるが仲々さうで無いと思ふ

◇現に革命の資金◇

として在米の支那人から送金すると云ふ事實を見ても看取される。五年許り以前私が渡米した時便乘したモンゴリヤ號が丁度太平洋の中央に來た時無線電信で支那が共和國になつたと云ふ報知があつたが、ボーイやコックに雇れてゐた支那人が一齊に雀躍して萬歳を歡呼し船が桑港に着くと二三十人許りの連中が甲板に整列して一度に辮髮を切斷した

◇其寫眞が新聞に◇

出るやら大分騷がれたが斷髮は背中に投棄して了つた何でも一人前の斷髮が五十錢に相當するのだ相だが話にさへなつたが是れなども愛國的血潮の全然涸渇してゐない印證ではあるまいか。基督教も漸次侵入して行つてゐる昨今では可成り高級の人士にも信者がある。——要するに支那の事は私共には充分解らない是れから大に研究開拓して行かねばならぬ事だと思ふ

□親孝行の大關大錦

▽貧民救助に私財を投じて天盃を賜る

清光館に大錦關を訪ふたのは二日目の夕刻であつた、床の間には小さな廚子を正面に安置て蠟燭が捧げてある、其の前に大きな關取がキチンと坐つて祈念を凝して居つた、今日の

▽一日の安らか なりし事を告げて感謝して居る樣子であつた、暫くしてから祈念の濟んだ大錦關は『お親父さん』を呼んで紹介して呉れた。お親父さんといふは小柄ではないが餘り大兵肥滿の人ではなかつた今年五十三だといふ人柄の良い年寄りも少し老けて見ねた『こうして大關の

▽息子さんと一緒 に見物して廻られるのは大變に結構ですナ』と云ふと老人は心から悦ばしそうな顏をして『倅が朝鮮滿洲の見物を是非とすゝめるものですから思ひ立つて出て來ました、さうですなあ、釜山に上つた時はあの

▽けたいな家や お可笑な著物を著た人間やら何やら彼まで珍らしかつたどす、京城も好い處やと思ひます山が周圍に有るさかいに大變涼しうおす、今日内地から手紙が來やりましたがあちら大變暑くて毎日九十度位やさうどす』と語る。大錦關はやをら身を起して床の間から

▽白絹の帛紗に 包んだ白木の箱を恭しく捧げて來て『實は昨年私は大阪で少しばかりの良い事を爲た爲めに畏れ多くも今度木内大阪府知事の手を經て天盃を下賜せられました、御下賜の御沙汰は此の月初めでしたが御盃は

▽一昨日内地から こちらへ送つて參りましたので其の日は一日天盃を祀りました昨晩は舊師柴崎中學校長を御招待いたしまして天盃の初口著を致しました、今日私が斯くの如き光榮を拜するのも皆な柴崎校長の御訓導に由るのでありますと固く成つて語り猶『柴崎先生は

▽私が大阪中學へ入學する 時から卒業する時まで校長を勸めて居られましたから私は先生から最も精神上の感化を與へられました』と語る、それから箱の蓋を開けて三ツ組の木盃を取り出した、さうして

▽お父親さん始め それを拜見する、大錦が天盃を下賜されたのは昨年大阪で貧民救助の爲めに關取りが少からぬ資財を府に寄附しました奔走努力の功に由つて賞與されたものだ『今度天氣になつたらお父親さんを案内して

▽京城の見物に 廻る考へである父は何にも道樂なしで旅行が一番好きです、内地には妹と母とが殘つて居ります、弟子は今度八人だけ連れて來て居ます』と語る、大きな男が何くれとなく優しく老父を勞はつて居る處が見るから感服の外はない。

◎温突崩壞して

二名下敷となつて負傷

京城竹添町二丁目仲介業朱榮根方は隣家劉東赫方と共に朝鮮式平屋建の温突を仕切りたる一棟の中に居住し朱榮根方の部分は腐朽し居れるが榮根は十五日早朝南大門市場に行きたる留守中妻の尹姓女（四〇）は長男奉鎭（二）長女福同と共に臥寢中午前七時二十分頃折柄の豪雨の爲め居宅は俄然崩壞し三名は温突内にて屋根の下敷きとなりて苦悶中物音を聽きつけたる附近の森下某が驅付け救助し急報に接し一方鍾路署の警官も現場に至り應急手當をなしたるが尹姓女は左肩に、奉鎭は右足脛部に打撲傷、[illegible]の[illegible]十日を要する創傷を負ひたり倒壞の損害約二十圓位なりと

◎降雨多からん

低氣壓半島を横斷す

十五日午前九時京城觀測所の觀測に依れば十四日京畿道附近に現はれたる低氣壓は東進して十五日朝仁川の東方海上に達し七百五十耗を示せり爲めに西岸地方一帶に降雨を催し十五日朝に至る雨量は仁川の二十五耗最も多量なり尚ほ此低氣壓は東進して京畿道附近より半島を横斷す可きを以て十五日中は殊に中部地方に多量の降雨を見る可しと

□大錦とお親父さん 『御下賜の天盃を初めて戴すのです――よく戴して下さい、うまく寫りますか？』『少し光線が惡うた……私も[illegible]でよく失敗をやりますよ』

◎滿鐵汽車博覽會

設備至れり盡せり

滿鐵は汽車博覽會を開催すべく準備中の處準備全く成りたるを以て十四日大連市民の觀覽に供し十五日午前大連驛發長春に向ひ其れより漸次沿線各地を巡回すべく尚其の設備は至れり盡せりとて好評嘖々たり（大連特電）

◎大相撲の休場

東京大相撲は十五日雨天の爲め休場する事となりたるが降雨霽れ次第十六日三日目を打出す可く綾川出場の爲め取組番組に多少變更あり三日目の取組左の如し

小島洋●（綾男）福柳●（鶴島）梅川●（四海波）逆鉾●（江戸崎）
鎭西山（大門岩）常ノ花（玉柳）（立井）（一港）
宇都宮（宮城山）小常陸（釋迦嶽）（成瀬山）（朝日山）
龍ケ崎 駒泉 栃木山 九州山（紫雲龍）（對馬洋）
綾川● 岩木山●（稲葉嶽）（朝綠）源氏山 大錦
西ノ海 兩國

◎電車幼兒を轢く

京城電氣株式會社の麻浦線を往復せる六十九號電車が十四日午後九時十分頃高陽郡龍江面孔德里停留場より京城に向け三四十間位進行したる際運轉手は闇の中の線路上に小さき白き物の動搖き居るを認めそれが幼兒なる事を知りて急遽運轉を中止したるも惰力の爲め遂に轢殺したり急報に接し高陽署より係官出張取調べの結果幼兒は孔德里黄儀成の長女黄順童（三）と判明し頭部を粉碎して無慘の轢死を遂げ居り檢視の上屍體は實父に引渡し運轉手は目下取調中なるが一時は附近の者多數集まり不穩の擧動に及ばんとせしも官が解散せしめたり

◎漢江益々增水

十五日午前十時頃の調査に依れば龍山元町四丁目下に於て漢江の增水一丈四尺に達し漸次增水しつゝあり

◎犯人は驛夫と荷物係

一千五百圓窃盜事件

去る十一日仁川[illegible]京城[illegible]一千五百圓を拔き取られたる[illegible]何者かに内一千五百圓を拔き取られたるため其後犯人嚴探中の所右犯人は龍山驛夫山崎正平（二二）同驛小荷物係河本案夫（二〇）の所爲なりと判明し直ちに其筋に檢擧されたり

◎降雨と電車

十五日の豪雨[illegible]京城電車[illegible]十時半迄[illegible]運轉を中止したるが午前十時より片側一線だけ運轉を開始したり

◎平壤長谷川町洋家具店[illegible]

風聞錄

□庖丁が自慢の紫雲龍 □氣焔の揚らぬ發展組

勸進元普入れの三日目の土曜は朝意地惡くも朝からの土砂降りで南山北岳を搖り動かす櫓太鼓の音さへ鳴らす一日休場は此の日を當込みの好角團體

▽可惜期待を 裏切られたり 雨の日の退屈紛れ宿に燻り四疊半に納まり込み各々さまぐ〜た想を馳せてる力士連中に遠眼鏡を向けて見ると京城では花月系統の置屋料理屋に最負の多い紫雲龍に龍ケ崎は富美廼家に納まり

▽前髮時代に 腕に覺ねの庖丁の利きを自慢で紫雲龍が料理番に廻り、鯛のチリ、鮑の酢の物なんかの乙なもので龍ケ崎、お文女將、光菊の外に二三人の藝者と共に苗助、麥酒、酒なんぞ無暗に煽つて盛んにメートルを上げる、龍ケ崎紫雲龍共に青木堂の久保田金次郎氏を贔屓なつて備裝てるけれども、今度も

▽故人の情誼 を忘れずチョク〳〵顏を出すらしい、紫雲龍は光榮からカフェーライオンで献立表の中で假名の誤讀みを素破拔かれ當年の洋行尻り美事に男振りを下げる、龍ケ崎は前夜の双林行き損ひを洗はれて最う止めだと頭を掻く、お文女將は例の如く眼の縁をぼうつと染めて大に噪やぐ、十年近い

▽知合同志か 雨の日は勝手な熱の吹き放題は如何にも面白さうだ、今度の一行は若手が多く人氣力士が多いけれども一體に温しく西の海大錦、栃木山、對馬洋、小常陸共に眞面目で發展組に算ふべき兩國、大の川は病氣上りで之れに準ずる綾川も病氣、先づ四海波、宇都宮、梅川紫雲龍、龍ケ崎などが之れも

▽餘り振はぬ 樣子、逆鉾、源氏山は西の海の眼が怖く驅泉は喜久家の羽振締めで入幕までは飛べず啼けぬわけで若手の氣焔甚だ揚らず、至極平凡だが——所が艶眼鏡を向けて見るとある、ある、番外として待乳山に伊勢家の愛之助片や菊水のみすじに片や九州山、梅家の梅若に大錦同じ家の大助に梅川なんど二日目までの好退組らしく映つる但し

▽成立もあり 岡惚れもあり 梅若などは後者の方に屬するか知れぬ、宇都宮は發展の魁をしたが若手を苦しめ醉つた勢ひ、あの細い玉龍に背負投を喰ばせた遺り花柳界の鬼門になつてる『關取は薩張りしてゐて好いけど少し茶目過ぎるワ』とは或る

▽一部の評判 梅川は三味線唄、踊り何んでも御座れの藝人だが同じ所にゐて貰ひたいといつたものがある力士好きの光菊が今度は少しも角力場に姿を見せないのは變だ、と思つたら龍、紫雲の兩關と水入らずは洒落れてゐる、喜久家の先生も京城へ來て以來相撲場へ足を踏入れた事は無いとの事、嫌ひかと言へば、中々持ちまして、何んでも或時期は

▽相撲見物は 禁つてるといふ、そのわけは？、曰くさあく〜それは天機洩らす可らず京城の相撲藝者と言へば清華亭に最も多く三太、金五郎、くに、富美廼家の光菊、梅家の大助、梅若何んでも屋ではあるか菊水のみすじなど、此の外に洩れたるものあらば自から名乘つて出ること

□相撲川柳（二日目） 忍

○宇都宮天井でベソをかき
○龍ケ崎我と我身をまきおとし
○江戸櫻地にうつちやりて[illegible]

筑後の大洪水 [illegible]は頗る多く大橋村にては小舟にて交通し學校は休業して救助を爲し居れり[illegible]水の模樣あり（久留米）

山東から追放 [illegible]及べるが左の四名は七月一日より在留を禁止され朝鮮に落ち行く事と[illegible]（三四）大工[illegible] 同妻子、川内捨次郎、[illegible]外人一名[illegible]

[illegible]川の二十五耗を最高とす[illegible]は東進して京畿附近より半島を横斷すべきを以て本日中は殊に中部地方[illegible]

天氣 曇但少雨

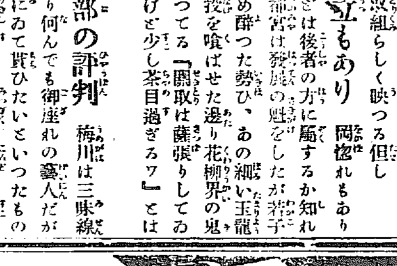
廣告

▲美味なる▼ 虫下し 最良藥 定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

岩崎大海堂
美味な虫下し菓子 さんとにおくれー 岩崎大海堂

主治効能 蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱、夜なきの虫、乳あまし、虫腹いたみ、疝熱の虫、虫胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫
近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢のは卅二錢分入りで御入用の多き方は常用と遊物に妙です

生き返つた樣に好い氣持
カオール
衛生口錠
●袋入十錢箱入廿錢 五十錢●一圓
●ニッケル製弗入形卅八錢 ●ヒスイ色まが玉形卅五錢 ●ニッケル製自動バネ付鮑形廿五錢
暑さやの疲勞に必ず二三粒!!
オリヂナル本舗 東京 安藤井筒堂
關西總代理店 大阪 藤森源之助



太田胃散
●飲過ぎ食過ぎに妙なり
本舗 東京 太田信義
全國到る處の藥店に販賣す

亡兒尚彥葬送の際は遠路御會葬被成下難有御禮申上候
七月十五日
父 谷村賴尚

荊妻たき代儀葬送の際は暑中遠路御會葬被成下奉深謝候混雜中御尊名伺洩も可有之ご存候間乍略儀紙上を以て御禮申述候
七月十五日
難波與太郎

朝日山四郞右衛門事勝本岩松葬式の儀來る拾六日午前九時天王寺自宅出棺於四天王寺本坊佛式執行仕候此段謹告仕候
大正五年七月十三日
男 勝本勝雄
妻 勝本千代
親族總代 岡本八郎兵衛 鹽澤時次郎
門人總代 大錦大五郎 二瀬川宗次郎 西の森清次郎
大阪相撲協會總代 高田川政吉
東京相撲協會總代 出羽の海谷右衛門 友綱貞太郎 根岸治右衛門
友人總代 吉田磯吉 勇山岩次郎 富樫万治郎

善道寺大橋、草野、浮羽郡柴刈…の各町村其他延長三里餘の間一面の海と化し浸水家屋數も浸水田畑…
近各村一面の海となり作物の被害は各方面を通じて尠からざるべし
…を中止せり方賀川堤防決潰の爲め附…

不穩の運動に出づる者あり是等の者に對しては濟南領事館に於て用捨なく其在留を禁じ其數既に二十餘名に

昨日京城道附近に現れたる低氣壓は東進して今日仁川の東方海上に發し七百五十…未だ西岸地方一帶に降雨を催し今朝に至る景仁…

風雨強かるべし △低氣壓示度 七百五十粍 鮮西岸沖 △進行方向 東北東 △警戒區域 鎭南浦江原道慶尙南北道沿岸及內陸

◉若い女學生達の愉快な旅路
□女子高師滿鮮視察團□

□雨の十五日の朝、女子高師滿鮮視察團一行は一路平安南大門驛に著いた

□奉天行急行列車の三等室に腰掛けた一行中の學生十一名は何れも旅の疲勞も見せず元氣相であつた

□年齡は何れも廿一二歳前後、黑の短靴に女學生徒の姿も凛々しく質素なコートを著けた人も多かつた

□プラットフォームでは途中まで一行を出迎へた京城在住の卒業生の人々や大田女子高等普通學校長、京城高等女學校長を始め各教育者婦人達が多かつた

□附添監督喜多見大師先生は釜山を見物した感想などを物語り學生は何れも初めての朝鮮を見て非常に悦んで居ります

□殊に各方面到る處母校の卒業生が歡迎して呉れますのでこれから行く先き〳〵の地方は勿論遠く滿洲に入つても非常に愉快な旅行を續け得ることと思ひます

□教育ある婦人がこれから盛んに植民地に出ることれは現代の日本に於て非常に必要なことで此の意味からせば今回初めて試みたわれ〳〵の旅行が決して無意味ではなからうと信じます

□釜山では内地人の發展に驚きましたが學生はまだ鮮人勞働者に同情して居りました

□それは一行の鞄を棧橋から東來驛寺まで運搬だ賃金が一個一錢位で拂はれたので其勞銀の廉いのを生活の哀れなのに感じたものと見えますと

□斯くて學生の一行は雨の南大門通りを俥を聯ねて旭町一丁目の天野きよ子氏宅に入つた

◉初めての滿鮮旅行
「喜多見學生監語る」

△旭町鶯谷の天野きよ子氏宅に入つた女子高師の一行は朝の洗面と鞄の整理に忙がし相であつた

△學生監喜多見さき子先生のおはなしに曰く妾の學校では毎年富士登山とか博物採集等に暑中休暇を過して居りますが今回の滿鮮旅行は學校としての初めてのとでございます

△旅行の目的は滿鮮各地の勝跡、並に教育方面の視察戰跡の見物等でございますが異つた土地を見物するのみでも充分効果があらうと存じます

△斯る旅行は何分相當の費用も要ることですがこれからは毎年試みたいと思つて居ります……と

△次いで南山町の京城高等女學校に赴いた一行は各教室に於ける手藝の學課を參觀し後ち作法室に於て諸種の生徒成績品を看觀茶菓の饗應を受けました

△午後は昌德宮から工業傳習所、淸凉里等を見物、十六日は仁川見物に赴く筈

南大門の女子高等師範生徒

◉朝鮮人の女學生
□女子高師生一行と共に歸省

◇今回入京した女子高師の視察團一行には京城府出身の朝鮮人の女學生金德成さん(二〇)といふ朝鮮人の女學生がありました

◇汽車が南大門驛に著くとお父さんの金顯琇さんは嬉しさを抑へきれずにニコ〳〵して居られました

◇金さんは今から八年前に東上して内地の女學校を卒業後高等師範の國語生となりました

◇先生のおはなしによれば金さんは學課もよく出來て非常に怜悧な人であると云ひます

◉女高師生一行
東京女子高等師範學校滿鮮視察團一行十八名の氏名は次の通り

教授森岩太郎氏△助教授喜多見さき氏△教諭…氏△訓導荒井忠吉氏△同山本幸雄氏△吉田さよ氏△岡田よし子氏△田中ひで氏△阿部よしな氏△三浦千代氏△福田うた氏△相住かめ氏△原田あい氏△木間重氏△菊池千歳氏△栗山つな氏(卒業生)

寒い露西亞は夏が無い
□別莊行きの流行と美くしい白夜□

◇寒い露西亞には夏がない。のみならず、あつても極く短かい。暑くてたまらぬと言ふこともまづ無い

◇尤も數年間に一回位ゐは稀れに堪ね難い短い暑さが來るそれ故避暑の必要もないがそれでも上流の家庭では御多分に洩れず皆別莊に出掛ける

◇別莊地の多いのは普通ペトログラードに近いフインランド附近であつて富豪は多く自分の別莊なり貸別莊へ行く

◇また勤め人は別莊から街へ通ふといふ有樣で此の季節には謂ゆる別莊列車なるものが運轉される

◇されば夏の露西亞の都會は極めて殺風景なるものとなり多くの家は冬の仕度をするので屋根の修繕やら壁の塗り更へやらに忙がしく市街は汚く穢れ總ての娯樂場は甚だ淋れる

◇併し此の殺風景な夏を飾るものに北國特有の美觀白夜がある

◇毎年夏至に近い頃になると北方の都市には殆んど夜を知らぬまでに日永となり夜の十一時に日が暮れると思へば午前二時には夜が明ける

◇此の時ネヴア河畔に起つてイサークの大伽藍の尖塔を望めば燦然たる金光がまことに美しい

◇ところがそれと反對に露西亞の冬は一年中の最も樂しい時季である劇場、音樂會、舞踏會、氷滑り等の娯樂場が方々に開かれて人々は誰だもう遊び疲れて了ふ時である(西比利亞より)

番茶のあと

女子高師の視察團が南大門に著きますと水筒を肩にかけた學生達は手に手に手荷物を携つて車を降りました

△中にはお友達の爲めに傘を翳しかけてゐる人、手荷物を持つてあげる學生もありましたが今一人の學生は棚から一つのキャラメルを見付けました

△そしてニコ〳〵しながら『森先生が怎麼ものをお忘れになりました!!』

だいどころ その日〳〵

□鮎[illegible]むし あゆに鹽をつけてかるくしごく時はわろくきれいに取れるそれと…

會いろ〳〵

□女子高師生歡迎會 十七日午後四時より京城女子高等普通學校に於て開催

神社と教會とお寺

○救世軍集會 十五日土曜日午後八時半…救世軍…

○メソヂスト教會(南大門通)十六日午前…

○京城基督教會(南米倉町)十六日午前…

○日本基督教會(長谷川町)十六日午前九時…

○龍山日本基督教會(漢江通)十六日午…

婦人界消息

◉各宗聯合精靈流 京城各宗寺院聯合の精靈流しは十五日の午後十時より漢江にて行はれます

△神田事務官夫人(遞信局)永らく京城婦人病院に入院中のところ此の程全治退院せられました

△天野きよ子(京城印刷所)十四日夜内地より歸京

商況

東京株式特電 / 債券現物特電 / 公債直取引 / 深川在米特電 / 東京期米特電 / 大阪株式特電 / 大阪三品特電 / 大阪期米特電 / 下關期米特電 / 雜報 [illegible]

◉酒精小締り
…

◉漬梅は格高
十錢見當 八圓乃至八圓五…

◉生果無商內
…

◉片栗粉時期待
物の出廻漸次增加 昨今千葉新…

下關相場
…

一鶴用賀の源泉 田中 電話一六二、一五二番

各地商況
◯馬山(十三日の穀物)…

◉油價の前途觀
…

◉市價の恢復は當分望まれず 對支輸出
…

◉砂糖は氣丈 品切物中赤糖
…

利 仲買店
仁川米豆取引所仲買人

京城正米
…

南大門の廻穀
…

京城雜穀
…

仁川現物市場
…

釜山市場 十四日
…

生魚市場
…

仁川期米
▲十五日前場 昨止より十三錢安の入電二節八十九錢の移 大阪五節九十六錢と高

◉三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目

移 大阪九節〇三錢 高移

市場零聞

▲依然底強し

下寄は報じ遲れて十二圓…大阪は天候晴れ

▲前場の手振

復洪水の恐れあり賣方の警戒 夜來の降雨は又

▲當小相場

當月限渡し米の上に大影響を及ぼさん 惡天候の持續

期待か反動高豫

▲又復大雨 存外冷靜

▲其後の當限

手當米準備は已に軟派

派は受腰強硬

解合申込に多少の解合

仁川米豆取引所
十五日の九月限

前場平均値段

寄付	止め	高値	安値	出來	一節	二節	三節	四節	五節
十二圓〆九錢	十二圓十七錢	十二圓十七錢	十二圓〆九錢	一萬五千八百石	十二圓十一錢	十二圓十三錢	十二圓十四錢	十二圓十三錢	十二圓十七錢

賣買取組高
七月限 五萬二千五百五十石
八月限 二萬七千二百石
九月限 三萬九千六百五十石
十四日後場 前日と較比 [illegible]

演藝案內

黃金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下)…

浪花館 電話二一六〇…

御成座 電話一九一…

大正館 電話八七三…

質 堀佐營業所 京城黃金町二丁目(永樂町停留所北入)(電話六三九番)

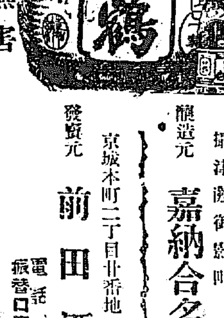
てんかん ヒキツケ 種々の手當も効なく時々で病お困りの方切手三錢送れ秘密になす永年の病も自宅で人知れず全治する新法の詳細を報ず 名古屋市中區南小川町東側 救生館

山田醫院 本町二丁目四十五 電話一八八〇番 呼吸器病專門 胃腸病 山田萬作

內科 小兒科 花柳病科 眼科(入院隨時) 尾形周太郎

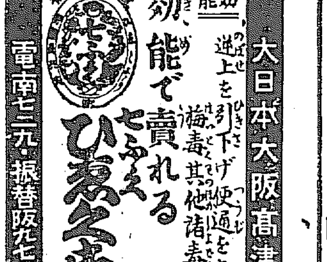
脚氣特効新藥 プラニン 二日にて効驗顯はれ一週間にて輕快 藥價一瓶八日分金六十錢 發賣元 東京小石川高田老松町 目白藥局

內科 小兒科 入院隨意 院長 中島貞信 京城明治町(元善隣學校隣) 中島醫院 電話三七八番

大日本優等清酒 ハクツル 品質純良 衛生無害

釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一二三…

太陽生命保險株式會社 平壤代理店 毛織物洋服商 遠忠商店

雨具及長靴界の大革命 長靴代用ハイカラゲートル 大正式マントは頭巾付(サック入) 防水布製… 付官吏及商店外交員の地方出張用に欠く可からざる品なれば御用命を乞ふ 雨具及びハイカラゲートル發賣元 東京共和商會 黃海道及平安南道特約一手販賣所 平壤旭町二十五番地 遠忠商店 電話三百二十三番


効能で賣れる 効能 逆上を引下げ便通をよくし梅毒其他諸毒を下す 大日本大阪高津 電南七二九・振替大阪九七三

廣告
拙者今回長崎に於て專賣特許滋養玄米製造開始致候に就而者一應當地を引揚候に付當地の貸家貸地集金等一切の事務を田中金作に代理爲致候間從前之通り御愛顧の程奉願上候 追而本町二丁目住宅(倉庫を除く)貸家と致候間御希望の御方は御一報被下度候
仁川府仲町三丁目(尾崎金物店二階) 富山源三郎 右富山代理人 田中金作

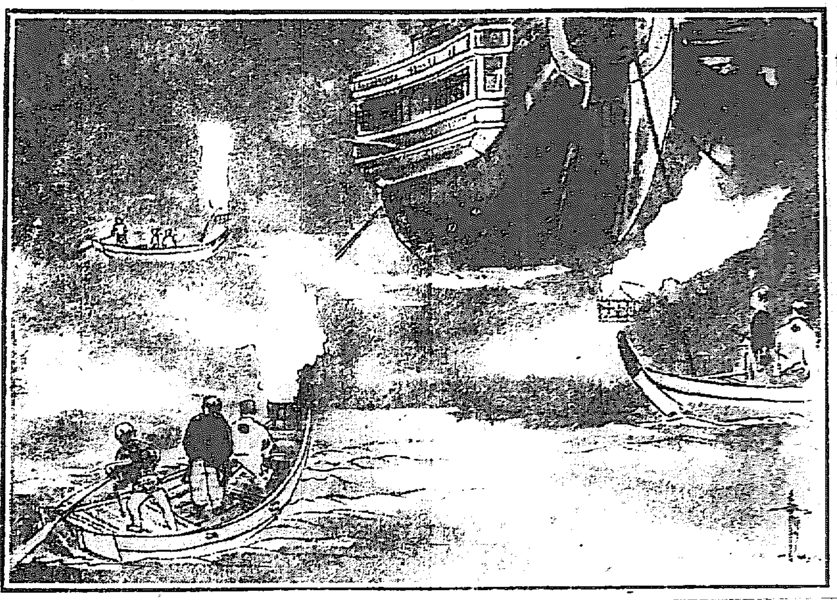
新築移轉
小生儀從來仁川本町四丁目に於て造船部の事務取扱來り候處今回業務擴張の爲め鐵工部へ隣接せしめ新築中の處愈々落成致し候に付十三日より同處へ移轉仕候間倍舊御用命御引立被下度此段以紙上各位に謹告候也
仁川府濱町三十五番地(電話三〇五番) 光田造船鐵工所 所主 光田百太郎

[illegible]

宮本武藏

第百回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記



玆で船頭が解纜を下して小倉へ乗付け、家老二ッ木勘解由の許へ此由を訴たへ出る、勘解由も容易ならん事であるから直ぐに君公の御前へ出で此事を申上げると右近將監忠眞侯大ひに喜ばれ 忠「當家の宮本が佐々木岸柳を討つて舅の恨を晴さんとは勇まし宮本一人の恐れにあらず、小笠原家の名聞とも相成る事、早速聞届け手配りいたし、明日城下に於て華なしき仇討を致させるやう、予が自身検分いたすであらう」との仰せ、此時傍らに控へて居りました家老小笠原隼人、隼「恐れ乍ら其儀はお見合せあつて然るべく」と申すは宮本は元當家の家來とは申し乍ら當時は浪人、亦岸柳も肥後熊本の住人細川家の抱人なれども表面は矢張り浪人、若し御當家より宮本に助力遊ばさるゝ時は武士の意氣地として細川家に於ても岸柳を助け、人數等を繰出すべく左ある時は兩家確執の因となりて公儀の聞へも恐れあり、之は手附かず浪人同志、武藝の上の決闘として眞剣勝負勝手次第と御意遊ばし、其勝負の場所は豊前小倉、長州下の關の間、海上にあつて人住まぬ巌島こそ然るべく巌島なれば小笠原の領地にてもなく亦毛利家の領分にてもなき無人島の事なれば公儀御聞へも憚りなし、御當家よりは海岸御固めとして足輕少々差遣はされ、餘所乍ら御助勢あつて然るべくと存じまする」と申上げた之は隼人の申所尤もの次第でありまするから忠眞侯、忠「然らば城下に於て仇討の儀は止めにいたすとして予が検分の儀はどうぢや」 隼「其の儀も公けには如何なれども、海岸御巡検なれば差障りも之れなきかと存じます」 忠眞侯莞爾とお笑ひなされ 忠「然らば海岸巡検と申すであらう、海岸巡検を致す途中仇討に出會ふのぢやな」そんな事があるものぢやない、粹な殿樣もあつたもの 忠「では直ぐに手配りを致せ」 隼「ハッ」 忠「勘解由其方より宮本へ右の由を申聞かせい」 勘「畏まりましてござります」と茲で二ッ木勘解由御前を下がり若侍を引具し、早船に打乗つて神通丸に乗付け、宮本岸柳の兩人を呼出だして君公の命を傳へ、勘「兩人勝負の場所は巌島と定め、時刻は明日五ッ時たるべし、双方共加勢助太刀を許さず一人々々の立合をいたせ」と申付ける、兩人畏まつてお受をいたし岸柳は辨天丸に止まり、宮本は神通丸に歸つて其夜を明かす事になりました、兩船は海上に相並んで碇泊いたし、其周圍には小笠原家よりして番船三十艘備出だし篝火を焚いて警固いたす、之はさうでもない岸柳には門人が三千人もあるといふ、殊に細川家の家來が多いから若しも細川家から助勢のため人數を繰出さんとも限らん、岸柳を奪はれては小笠原の恥辱だから斯の如く仰々しい固めをしたの、宮本と岸柳の勝負に餘り大仰だと思ふ人もありませうが決してそうではございません、海岸には足輕二百六十人之れも厳重に相固める、さて其夜は白々と明けて寛永十年九月十五日、早東雲の空よりしてドン／＼ドン／＼打鳴らす太鼓の響と共に、上に於ては小笠原家の徒士足輕何も持場々々を固め、巌島と名付ける小島の周圍には番船を以つて十重に打圍み、白地に三階菱の定紋打つたる幔幕、海風に吹孕らみ勇しなんどいふばかりもない、小笠原右近將監忠眞侯には夜の明際より御船に召され御供には家老小笠原隼人、小笠原左膳、雨森縫殿之助、二ッ木勘解由、宮本伊織、高田又兵衛之等を初めとして二十餘人の人々從へさせられ海岸御巡検といふ名目に無人島へお出になる、中にも宮本伊織は武藏の父で、長子の武藏と石川軍刀齋の仇佐々木岸柳を討つ華々しき仇討本懐を遂げんといふ場合、其喜ばしさは申すも愚か、今の左織に於ても父に從がつて君公の御供しながらも只管兄の武運長久、仇討無恙相済むやうと祈るより外に他事もございません、巌島に近く寄せ、濱邊に碇を下ろして船中より御検分になる、定刻になるや小船を以つて神通辨天の二船より、宮本岸柳の兩人を巌島へ上陸させた。

入院隨時
旭町二丁目十三番地
若槻内科小兒科醫院
電話二四六二番
ドクトルメヂチーネ 若槻寛隆

外科一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

七月十七日九星
舊六月十八日乙卯
本命三碧東成大安

●三碧 水掛論を生ぜんとす注意 新事見合 地の方は吉 暗剣東 ▲四緑 智術發展の日 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 功労を知られて [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible]

くだりはらの氣持よく止まる
健胃固腸丸
大阪 谷田春堂
到る處の藥店にあり
食傷 寢冷
時候あたりから
起る下痢と腹痛を治す
藥價十戔二十戔五十戔一円二円五円

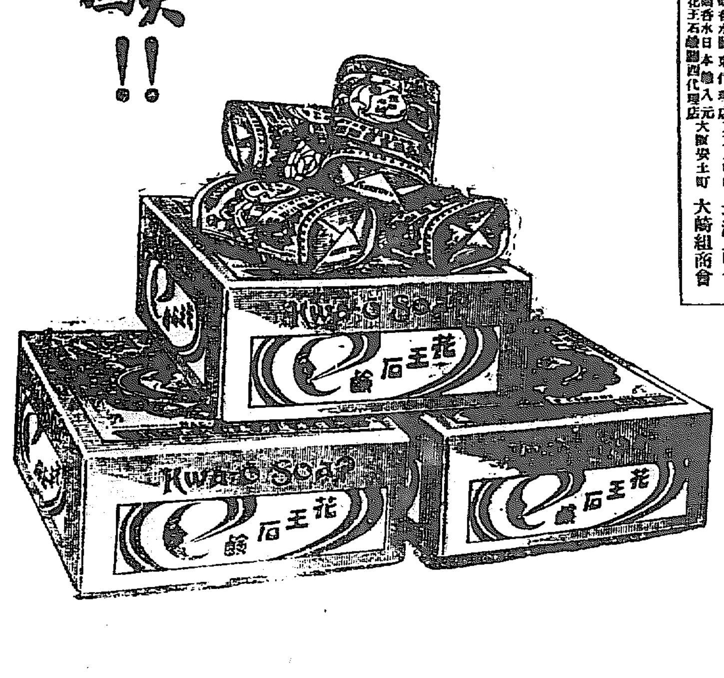
瀬戸外科皮膚科醫院
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀬戸潔
診察夜九時まで
(電話二四九八番)

藤富牧場 電話 [illegible]

明治公債株式會社朝鮮支部
▲外務社員募集
京城府東拓會社隣
電話一九〇八番(振替京城一五五〇番)

日用品として
アルボース
石鹸の如く消毒力強烈にして且つ安全なる者
内外共に類例なし
不時の怪我には勿論家畜にも廣く利用すべし
應用の範圍頗る廣く一々數へ難し

御進物の吟味は
品格のあるもの
必要的なるもの
時節に適ふもの
と申すので、本品は毎度何方へも御用命を蒙つて居ります
品質本位
花王石鹸!!



花王石鹸製造元 東京馬喰町 長瀬商會
朝鮮香水園京代理店
香水日本輸入元 大阪安土町
花王石鹸朝鮮代理店 大崎組商會

朝の洗面後と夕の浴後とに
缺かさず使ふたつた一滴の
ホーカー液
が齎らす顯著にして偉大なる効果!!

東京で一番よく賣れる美人こなる家庭化粧料

ホーカー液の大、小瓶
ホーカー白粉の函
化粧函の圖

夏季の御贈答品として最も好適!
(ホーカー白粉美麗函入壹函七十五錢)

肌を整へ艶を増す 成分を含んでゐるので、平素缺かさず使つてゐると、知らず／＼の中に、キメを細かに肌の色艶を美しく、色を白くし、すつきりと垢抜けがして、見違へる樣な純東京風の樣子となります。

日やけ白粉やけを防ぐ には何と言つてもホーカー液が一番です。パラソル一つで日焦が防げると思つたのは舊時代の思想で、現今では優良な化粧料を使つて之を完全に防ぐ樣になりました。毎日お塗けになるホーカー液の一滴は根本的に肌の底から色を白くして、日やけや白粉やけの心配を微塵もなくするのです。

夏の吹出物や汗疹 にもホーカー液は如何してから好いかと思はれる位です。平素使ふと、汗でお化粧の崩れるのを防ぎ、吹出物も豫防する事が出來ます。だから、貴婦人令嬢は申す迄もなく、現代の紳士の素化粧料として盛んに愛用されて居ります。

定價 小瓶二十錢 中瓶四十錢 大瓶八十錢
送料 小四錢、中大八錢 滿鮮三十錢

ホーカー美顔液 本舗
ホーカー白粉
ホーカースネーク
堀越嘉太郎
東京神田和泉橋
振替東京一一五六

京城日報 第三版

十六日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

發行所 京城日報社 合資會社 太平通一丁目
發行兼編輯人 ○○○○
印刷人 小川三之介
定價 本紙一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢 前金 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 一ヶ年金七圓三拾錢
廣告料 五號活字一行金壹圓 特別指定一行金貳圓

京城論壇

法窓閑語

渡邊暢

□頃日、日本内地の到處で拷問や誤審の聲が頻りに擧つてゐるが是れ判者が餘りに被告の自白に重きを措き過ぎるからである。罪の有無に對して當人の自白の如何と云ふ事は論ずる迄も無く重要な事ではある。然し乍ら自白を金科玉條として證左の如何は次に措き強ひて被告の自白を得やうとするのは巧みな捜査とは言へないのみか是れ變て拷問の起り誤審の生ずる因を爲す。巧みな捜査は直接被告と思ふ當人には仲々當らない。成る丈け周圍から周圍からと遠巻きに調べて行つて是れ丈け調べてあれば最も大丈夫と云ふ時最後に當人に當る從つて決して自白を強ひない。拙劣な捜査になればなる程僅少の材料で罪人を定めやうとする爲めに無理が出る。無理に語らして置いて「本人が言つた事だから間違ひは無いだらう」と言ふのだが其れが抑も間違ひの初めである。裁判には經驗する事が一番の大敵である。疑の上にも疑を掛け彼でもない愆でもないと疑に疑を重ねて行つた結果眞實が判明するものである。容易く自白を信ずれば疑は行き詰つてしまふ。是れを兎もすれば豫審判事さへも容易く自白を信ずる樣な事をする事がある。誤る基である。戒むべき事だ。

□徳川幕府あたりの法曹の事は組織立つた明文も無く手續法や刑事訴訟法など罷まつたものなど無い樣ではあるけれど種々の慣例があつて不文法として仲々完成したものがあつた。例へば極刑に處するには口書爪印、即ち自白書が無ければならないなどと云ふ事になつてた。茲にも自白を重んじた形跡が認められるが、當時は拷問は公行されてゐたのである。即ち當時に於て獄具の使用の許容せられた所以は、本人の自白が無くとも萬間違ひ無しと云ふ證據は揃つて居るけれど怎しても自白しない。其爲めに處刑する事が出來ないと云ふ樣な場合の爲めである。夫れが拙劣な捜査により僅少な證據を以て罪を定めやうとして拷問を惡用するに到つた。今日拷問ありとは言はないが若しありたりとすれば捜査の拙劣を自白するものであると言はねばならぬ。繰返して言ふが巧みな捜査官は自白を最後にし、拙劣な捜査官は之を最初にする。捜査の拙劣な者は氣短く結果を得やうと焦慮りたがる。急がば廻れと言ふ古語は茲にも顯彰する値がある。

□西洋でも或る時代には處刑に證據を限定した處があつた、徳川幕府時代の口書爪印の類は其れであるが、是れも亦餘りに拘泥すれば弊ひを爲すに至る。有名な大岡越前守の御裁きとして今日傳へられてゐる總てが當時越前守に依つて爲されたとは云へないが、即ち支那で行はれた事なども來り加はつて越前守の行蹟として傳へられるに至つた事もあるが、然し彼の人の裁判には流石違つた處があつた。常識を主として裁判するので當人の自白を強ゐたりする樣な事が無い。周圍の狀況から推斷して裁判して行く。沙翁の戲曲で名高いヴヱニスの商人なども餘程悟脈調子の處がある。

□證據と言つても亦頗る危險だ。殊に證人の證據など全然信憑するに足らぬ事は勿論である。宣誓を無視して嘘僞の申立を爲すに到つては勿論問題外だけれど、人間の記憶と云ふものが決して全然間違ひの無いと云ふ事は決して言へないのだから、嘘僞を申立る積りで無くてつひ迂つかり眞實でない事を申立る場合が無いとは言へない。西洋人の神に對する宣誓と日本人の良心に對しての宣誓とは差があるが、日本人と朝鮮人とは又相違がある。朝鮮人の證人として信用する事の出來ないのは殆んど極端である。法廷に於ける申立の眞僞は國民の道德に照應する。

□嘗て日本でも既に廢棄せられて使用してゐない昔の刑具、獄具の陳列をした事があつたが、外國あたりにも今尚古代の夫等を陳列してゐる處がある。和蘭の一監獄で釜を見たが日本でも石川五右衛門を煮殺したと云ふ事だし東西相應じてゐると思つた其他手枷足枷の如き獄具が今日の囚人取扱の方法と對比して全く隔世の感があるのは囚徒に對する根本觀念を異にしてゐるからである。ヴヱニスの刑場の慘酷なのも一寸他に見られない感じがしたが殊に斬首した死骸を遺棄した穴だと云ふのが丁度寄壁の樣な處で下は海に通じて居つて拋棄された屍骸は大海に流込む樣になつてる。耶蘇が架けられた十字架の如き日本にも例のある事は人口に膾炙した事である

□刑の重い事は未開國に於ては申合せた樣に激しい。支那、朝鮮、日本など昔は皆處刑が苛酷だつた。強盜は死刑、竊盜三犯は死刑など云ふ處刑も激しいうちだ。是等は社會の有害物で矯正する事は出來ないから寧ろ殺して了つた方がいゝと云ふ考へから出てるのだらうが、其處は文明と共に教化の力を認めて來て矯正を根底に置く樣に爲つた。ロンブロゾーの説の樣に人には生まれ乍らにして犯罪の素質を持つてゐると成ると云ふ物である。最近の學説は犯罪人は矯正し得るものだ、と説く。放棄して置けば横道に進入して犯罪を敢てするに至るが、相當の教化を施して善導して行けば假令素質があつたとしても矯正し得る、と説く。性善と云ひ性惡と云ひ更に性には善惡なしと説き古來歸一する處は無い樣であるが矢張り天性は善なるものと言ひ度い

□文明は惡を助長すると言ふ人もあるが文明の爲めに冤罪だ。文明は一面智識を増殖して行く爲めに惡の手段を精巧ならしむるかも知れない。然し文明は決して智識のみ増殖しては行かない。精神的進化こそは文明の眞髓である。殘忍酷薄は野蠻に多く文明に稀である。文明は神に近づく道程であり野蠻は神に遠ざかるものである。萬一文明に惡が進加するとすれば夫れは文明が然るのでは無くて文明の智を惡用するのである。

□文明の度に應じて激增する犯罪に幼年犯罪がある。所謂文明なるものは或る究極の境地に到達せんとする過程である。其道中に即ち完全せざる文明である爲めに犯罪の如き惡も伴ふて來る、現に日本に於て見るも年々幼年犯罪者を増加して行く。文明の程度の日本より一歩乃至數歩進める歐米に於ける幼年犯罪狀況を見るに正に、日本よりも激烈である。斯くの如きは東西共に田舍よりも都會が多い。例へば倫敦の如き巴里の如きは最も幼年犯罪者の多きを示してゐる。文明が一歩進めば之を教化する設備をするに至る。例へば紐育の如き都會では幼年犯罪者たるべき傾向を最も多く持たせられてゐる貧民の兒童に對して預り所を設置し、兩親が勞働に行つて歸る間に放置して置かれる間に教育を與へてやる。其れでも乃至は其手が屆きかねて横に逸れた者に對しては感化院の設置がある。文明は決して惡を助長しない。惡に遠ざかる事即ち文明である。

城壁文學

京城部城の諸門

小田省吾

(第六) 甲、部門總說

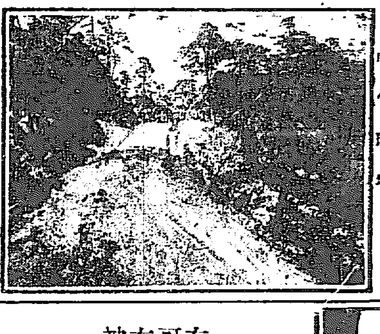
(二)水口門に就て 以上實錄と芝峰類說との二は京城諸門に關する大切な史料であるが、水口門に就いては該史料に闕し兼ねる點がある。余は先づ之に對する考を述べて見ようと思ふ。

(一)京城東南の光熙門址は下に云ふ如く南山東麓の高地であるに、何故實錄には此の門を南小門と云はずして水口門と云つたか。

(二)其の後に出來た今日の水口門も東大門方面水口のある低地を離れ(下都監水口より約五丁を隔つ)寧ろ稍高地に近き箇所なるに、何故水口門と稱するか。

(三)芝峰類說に依ると水口門と南小門とは別であつて、或る時代は兩者並存したのであるが、何故南小門の本名たる光熙門の名が、水口門の本名として今日に殘つて居るか。(現に水口門には光熙門と云ふ額が揭げられてある)

いよ〳〵南小門址と稱するは奬忠壇の前を流るゝ溪流に沿うて上ること約五丁、漢芝面漢江里(舊漢江坊)に通ずる道路が南山東麓の鞍部に於て城壁を横斷する箇所である。此の地點は正しく京城の東南(即ち巽の方位)に當つて居るが、此處に近頃まで南小門があつたのではない。門は早くから撤廢されて全く城壁になつてしまつた。此の門の撤廢された年月は確かでないが、今より約百年前のものと思はれる京城の古圖には既に門はなくて城壁になつて居る。又近く明治十九年の京城地圖にも同樣である。併し今の奬忠壇は其の以前南小營なる兵營のあつた處で、其れに接近した西四軒町邊一帶をば南小門洞と稱する。(今でも往々朝鮮人は南小門洞といふ標札ある家を見ることがある。)而つて昔は其の邊に南小門のあつたことは疑ない。現に朝鮮人は前の地點を남소문터(南小門址)と呼んで居る。其の城壁を開鑿して道路を通じたのは極く近頃であつて、此の道が出來てからの地圖には其の地點に南小門址と明記して居る。既に南小門の存在遺跡に位置が確かだとすれば、南山東麓の鞍部で河川に關係のなき處を何故水口門と云つたか。此の疑問を解せんと思ふ人は試みに此門址を訪へ。さすれば百聞一見に若かずで、直ちに余の言ふ所に首肯せられるであらう。此の門址より一歩を出づれば更に一溪流に沿ひ平路坦々爪先下りに漢江里に達するまで僅かに十數町に過ぎない。此の路は現今の水口門を出て火葬場、南山商會前を通つて漢江里に通ずる道路と合するものである。漢江里は昔時物貨の運搬が主として漢江の水運に賴つた時代は龍山、麻浦、西江等と共に京城に對する肝要な津口の一で、又漢江里の對岸佐平院より龍仁を經て忠淸北道忠州に通ずる大路となるから、輸漕、交通等の點から大切な處であつた。而して此の村の東端が京城部城の最後の水口となるのである(水口門に就て未完)



南小門址

京日詩壇

○市居二首　圓山　牧雲

從來學隱在山林。未入紅塵萬丈深。已下嬋須遁往。且離猿鶴獨沈吟。滿街人活沒朝暮。連棟月明忘古今。誰得色前無別法。市聲畢竟是禪心。

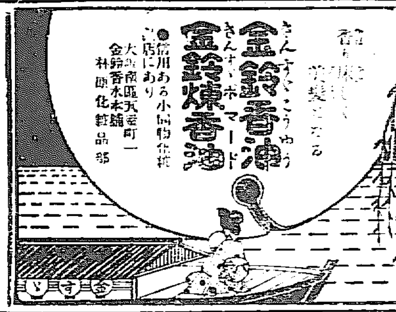
騷騷學問乘時至。覺破老僧岩穴疇。爲法求人忘是非。隨緣作主離眞僞。珍重人園裏去歌聲。有漏界中來買醉。無生文向上機。要妥得箇新天地。

評曰、眞是情至之作。脈理極細、感慨極深。

一通信事業用式紙類參臘及貳百磅鋼線外壹點
右賣買ス細詳ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ
大正五年七月十六日　朝鮮總督府遞信局

讀者養成

警官は内地朝鮮臺灣支那外國に就職
○採用區域擴大し各方面共に募集中
○本講義錄を修得すれば受驗成功の格確實なり○青年在郷軍人公福合
○會則進呈○東京芝公園警察協會



競爭入札廣告
一市内貞洞十三番地上建設物
煉瓦家屋、商場、溫突等
右競爭入札に附し賣却可致に付御希望の方は左記事項御承知御來會被下度候
一日時　大正五年七月十八日正午
一場所　市内貞洞十三番地
一入札保證金　百分の二十
廣江商會

新刊書御案内

書名	著者	定價
人性論	永井潜	一三〇
人命論	永井潜	三八〇
生物學と哲學の境	永井潜	三八〇
論語解義	簡野道明	二五〇
漢字の形音義	岡井愼吾	一五〇
最近の自然科學	田邊元	一二〇
西洋古代中世哲學史	安倍能成	一二〇
優生學 人類の進化と社會の進化	齋藤茂三郎	一二〇
修省論	幸田露伴	一〇〇
修道講話	加藤咄堂	一〇〇
努力論	幸田露伴	一〇〇
充實生活	丸野内入	五〇
最新簿記の覺方	岡分可任	全七〇
素人園藝獨案内	千葉晩香	三〇
男讀むべからず	丹いね子	七五
新撰日本外史	池邊義象	一四〇
實用ペン習字帳	黒柳勲	二〇
成功の道	藪堤陸士特	二〇
赤穂義士	福田宗次郎	一五〇
朝鮮諸官廳受驗者必讀法律講義	坂上隆吉	特七五
朝鮮總督府巡查受驗提要	水野浩	特四五
實用計算法秘傳	佐々木政吉	五〇
珠算の秘訣	同上	五〇
大正琴教本	某友會	二五
ハーモニカ活法	西山啓吉	四〇
實業青年成業の要義	井上泰岳	六〇

大阪屋號書店　京城本町電話二〇八六　振替京城二五七三

金物電氣商　京城龍山漢江通八番地(佐久良座前)　巴商行　樋口米太郎　電話四二四番
京城黄金町三丁目(水樂町東入)　巴商行　鑄物工場
京城電氣株式會社製品(石材)販賣
大阪久保田鐵工所代理
東京神奈川電氣株式會社代理　電氣部　電話京城一四二五番

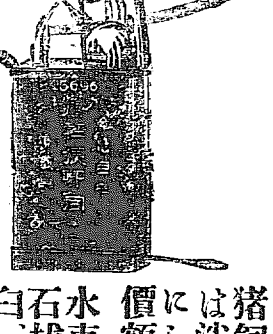
日韓書房　新版報告
朝鮮行政法要論　田中春三郎著　定價一圓送料八錢
考試提要　原己友著
林野分布圖　總督府編
海の趣味　若林欽著
老人より青年へ　村田水翁著
京城本町二丁目

各國時計　自轉車　蓄音器
直輸入卸商　喜多金光堂
京城黄金町二丁目(電話一〇一五番)　振替口座七八二番

□建築用　□工業用　□壁塗用　□消毒用　□肥料用　□セメント　□左官材料　□其他一式
製造工場京城麻浦
長谷川商店　電話三八三番

建築之日本　七月號
定價壹部金廿五錢郵稅共
東京芝虎の門　建築之日本社　振替東京三二一六四九番

猪飼式輕便噴筒は消火消毒兼用にして品質堅牢價額低廉なり
水車、石拔唐箕、石拔萬石、籾摺臼、籾篩
其他各種農具廉價販賣仕候營業案内御申越次第郵送可致候



一手特約販賣
京城南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部
電話長四〇三番振替口座京城三七八番

價川輕便鐵道　列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、二三	四、三七	七、二八

京日案内
普通(一回前金三十錢割引)
番外(一回前金六十錢割引)
▼申込後中途掲載中止の節は前金返戻せず

●製糸工女募集　但し足踏器械に經驗ある者至急入用希望者は本人直接來社問合あれ(姓名在社)
●醫院向貸家を求む　旭町一丁目より櫻井町迄南山町より黄金町の間　明治町二丁目(電一八六〇)すかき 698
紙袋張内職日鮮人數十名入用　京城明治町一丁目五三　清寛堂支店 697
▼最新流行、粋な、はやり歌色々あります　本町二●電二五二七◎ウッボヤ書店 616
店員　齡卅歳以上卅五歳迄の身元確實にして經驗ある者、京龍間に商買ある者　龍山榮町平田屋吳服店 678
▲東京堂書店　京城本町三丁目 631
開店　古本買受
●古本熱心高價買入　△御報參上　●是非御試を乞　△本町四　●電話二七八一番　△書肆清香堂 637
●鍼灸專門　神經痛、胃病　京城並木町五十八番地　佐野回春堂 640
支那語學講習會　夏季第二回　●七月廿日開講●短期六ヶ月を以て實用必須の支那語を授教す●詳細は長谷川町五八同學社へ照會あれ 695
外務社員募集　日本人三名　京城長谷川町九一(電話一五三四)帝國公債信託株式會社支部 699
魔法瓶中瓶取替　ゴム引マント　防水インバネス　其他色々　京城本町一丁目　高木旅行用具店 696
毎月一回抽籤を行ひ當籤者には掛金を要せず直ちに現品の本場大島紬を渡す規則書見本一報次第送付　京城旭旅館内　大島屋出張店 693
京城春川間自働車貨金片道四圓　京城南大門通一丁目　廣橋自働車組　電話二一九番 648
店員入用　酒造製造販賣に經驗ある者確實なる身元保證人を要す　電一四六一番　京城花園町　難波酒造場 692
内科　小兒科　女醫　川崎朋子　京城明治町二丁目　長電話一五〇四番 651
各眼病院眼科醫　眼鏡專門　京城黄金町　宮川大學堂　振替京城壹壹貳九 661
京城春川間自働車　京城水標橋通り　京城發午前八時　春川發午前九時　電話貳壹參八番　京春自働車商會　支配人松田壽男 650
恩給年金退隱料特別低利即時立替　御便利に如何樣にも御相談仕候　京城若草町百六番地　西村商會 617
●はねつき　うちみくじき等一切の治療御依頼に應す　明治町　柔術道場 632
海産雜穀物　北海道産輸出商　小樽臨港町本通　大杉商店　電略「ヲス」「又ハ」「ヲ」

◎宗社黨旗擧準備成る

蒙匪と呼應して奉天を衝かんとす

洮南府に進出せんとしつゝある蒙匪巴布札布軍と呼應し討伐の爲出征中の吳俊陞の兵を牽制すべく宗社黨の一團海龍城方面を根據として旗擧げの準備成り馬賊團と連絡し一擧奉天を襲はんと擬しつゝあり海龍方面人心恟々として地方民の沿線に避難するもの多し(奉天電報)

◎國務院總統府紛擾

帝政首魁八名の處罰命令は十三日夜半十二時突然國務院より各新聞社に對し發表を禁止せり此の事は國務院の一存にて總統府側は與らざるものゝ如く之等は總統府側と國務院との間に何等か紛擾の生じたる結果と察せらる(北京電報)

◎唐紹儀へ就任勸告

十三日國務院連名にて唐紹儀に對し就任勸告の電報を發したり(北京特電)

◎獨軍第七回の攻擊

獨皇太子軍ヴォー街道戰線攻擊

ピカルデーに於ける戰鬪は比較的靜穩なりヴエルダン戰開始以來第七回目の獨軍の密集攻擊は開始せられ獨逸皇太子軍は十二日六個聯隊一萬八千の大部隊を以てミューズ河の東方フリューリ、ヴォー街道地方の堅固にして狹隘なる戰線を攻擊しスーピル要塞は敵の目的物となりたり敵の第一縱隊は佛軍の砲火及び機關砲火の爲め薙ぎ倒され殘餘の部隊は少許の地を獲得せるに過ぎず敵は其の損害の多大なりし割合に得るところのもの極めて些少にして結局敵はスーピル要塞に達する事能はざりき尙ヴエルダンは敵が先んじ得べき唯一の地點なるを以て敵は此の方面に於てソンム及びアンクルに於ける敗戰の代償を獲得せんことに努力せり敵が現今と同一の程度を以て進出を繼續せんとせばヴエルダン到着迄には三、四箇月を要すべしピカルデーに於て英佛聯合軍が十日間に獲得せる面積は獨軍が四箇月を費して得たる面積よりも大なりヴエルダンに於ける佛軍の三防衞線は去二月以來漸次に增援せられたり即ち第一防禦戰はスービル、タバン戰にして第二は堅固に防禦を施されたる國境戰第三はコーツ、セント、ミカエル及びベレビルの線なり(巴里電報)

◎森林爭奪戰光景

メッツ兩地點防備堅固、塹壕蟻の巢の如し

英軍總司令部附ロイテル通信員はマメッツ森林及コンタルメーゾンの爭奪戰に關して述べて曰く右戰鬪は最も必死的にして其の防備は兩地點共實に驚くべき程堅固也塹壕は縱横に建設され其狀恰も蟻の巢の如く敵は我が軍が之に侵入せる迄其內に隱れ居たるが我軍侵入するや忽ち機關砲を亂發し多數の爆彈を投下したり同所は我軍の手に歸する迄處々に猛烈なる白兵戰行はれたり(倫敦電報)

◎露軍進出高地占領

ストックホッドに於て砲戰行はれ又ストリツパ河流の西部に於ける諸地點に於て猛烈なる戰鬪開始され敵は逆襲を行ひ露軍は二千名の捕虜を獲たり小亞細亞に於ける露軍は首尾好くママカタンの西方に進出し數個所の高地を占領せり(露都電報)

◎大邱地方經濟狀況

最近數[illegible]期に入り而も昨月中の大雨は諸方の交通を杜絶さしめ[illegible]り諸種の事業亦起らずために金融甚だ閑散なり今當地農銀支店六月末の[illegible]四千九百圓[illegible]四萬二千八百餘[illegible]殺の實現を見るに至らん形勢ありた[illegible]土工部屋に於て土木夫八十五名の內六十五名が同盟して堀井外土工組[illegible]たるも十數迄には未だ一人も捕縛さ[illegible]町斗量場に於て[illegible]檢査を行ひ同時に鑑札を交付する由なれば所有者は定[illegible]

◎淸州經濟近況

近時農民の[illegible]

◎獨潜艇商船と認定

華盛頓來電に曰く諮問委員はドイッチランド號の船倉は商船の船倉と同一なるを以て同號は商船の取扱を受くべきものなりと爲せり尙ほ同船は多分船長の意思に從ひ何時にても荷揚げ及び出帆を差許さるべしと(紐育電報)

◎陸軍飛機歸航

千葉縣六方が原に於て野砲兵聯隊と聯合演習中なりし陸軍航空大隊の第七第十三號の兩機は演習終了と共に十五日濃き朝霧を突いて午前九時歸航せり(東京特電)

◎金融緩漫の大勢

朝鮮の利率問題如何

內地一流銀行筋には金融益々緩漫の趨勢にあるより當座預金を無利子となすべしとの說さへ唱へられつゝある模樣なるが朝鮮も金融界の大勢依然緩漫の域を脫せず各銀行共何れも未曾有の手許遊金を抱き其の消化策に窮窮せる等の理由により預金利子を幾分引下げ內地銀行利子との間の開きを一層少なからしめて如何との意見二三當業者の間に存すれど朝鮮銀行の態度動かざる爲め何等議は具體的とならず玆許何れも見送りの體なるが內地金融界の狀勢如何に依りては朝鮮各銀行預金利子の引下げは必らず問題となり來るものゝ如しと某銀行家は語れり

◎檢査班の組織

土地調査區外業監督

臨時土地調査局にては六月末寺內總督巡視の際の訓示に隨ひ外業特別檢査班を組織する事となりしが其の檢査を行ふべき外部の作業は測地及び細部測量にて其の從事員約二千名を超ゆ加ふるに作業は其の終了の期遠からず目下北漸して益々遠隔の地に進展し居る爲め各地各樣の作業並に成績に付一々嚴重なる檢査を實行する事は其の組織非常に膨大を要するを以て檢査班は差し向き局部的に作業を檢し以て該作業班の實務成績を推知せんとするものゝ如く先づ七月より八月に亘り四檢査班を組織し班長には副事務官監査官又は技師を充て監査員及び檢査員には書記又は技手若干名を任用し其所屬は何れの課にも屬せしめず局長直系となせり尙ほ測地作業は十一月を以て終了の筈に付其後檢査班は中部及び南鮮の調査終了區域にも出張し既成區域の檢査をも行ひ調査の精確を考試すると共に局員論功行賞の資料を得べしと

◎家畜及家禽數

大正四年十二月末現在の家畜及び家禽數は牛一百三十五萬三千五百三十一頭、馬五萬四千六百三十九頭、驢一萬二千六頭、豚七十六萬六千五百四十頭、山羊一萬四千二百二十四頭、緬羊六頭、鷄四百二十七萬八千二百三十九羽にして之れを大正三年に比すれば牛一萬五千百三十頭、馬二千九十四頭、豚八千七百卅七頭、山羊二千七百十四頭、緬羊三頭、鷄十六萬八千五百羽を增加し、驢六百十九頭、騾四十三頭を減少せり、畜牛數の前年に對する增加率は約一分一厘に過ぎずして半年より遙に僅少なるのみならず忠淸南道外五道にては却つて減少せり、是れ一般牛價の暴落せるに方にては歐洲戰亂の影響として牛皮の需要激增し、屠牛數は前年に比し約四割八分を增して實に四十萬六百六十頭の多きに達せる爲めなり、豚及び鷄數は道に依りては多少の增減あるも全土に於ては增加を示し殊に改良種に在りては一般に良好の成績を見たり、即ち豚の改良種及び其の雜種は一萬五千三百九十四頭にして前年に比し四千八百九十四頭を、又鷄の改良種及び其の雜種は十三萬六千五百二十一羽にして前年に比し四萬二千百二羽を增加したり

◎面費出入決算

大正三年度に於ける各道面費の歲出入決算を聞くに歲入は各種賦課金二百二十四萬五千七百六十五圓の外面交付金、財產收入、前年度繰越金等一切の收入を合し總計二百九十四萬三千八百七十圓にして、歲出は手當及給料二百三萬一圓の事務所費、支出等一切の支出を合し總計二百六十一萬四千八百七十三圓にして差引殘額三十二萬八千九百九十七圓を示せり、此の殘額が歲入と歲出の減に合せざるは同年度に於ける殘金ありしに依る、因に之れを前年度に比すれば歲出入共若干の減少を見、又之れを元年度と比較すれば出入共に殆んど相伯仲せり

◎本年の官製鹽

本年度の官鹽採取高は廣梁灣及び朱安を合し約七千萬斤の豫定なるが朱安は昨今の盛鹽期に降雨打ち續き殆んど採鹽を見ず近年稀なる不良の成績なるも廣梁灣は天候順調にして今日迄に於て既に四千萬斤以上の採鹽を見たれば假令夏季に多少の降雨を見るとも秋季の盛鹽期もある事とて本年は優に豫定額以上の採鹽を得べく昨今の狀況より徵せば結局本年の官製鹽は尠からざる豐作なるべしと

◎製煙輸移入高

五月中の製造煙草輸移入狀況を見るに口付紙卷煙草八千本、四十七圓餘、兩切紙卷煙草四十六萬一千本四千二百二十二圓餘、葉卷煙草一萬五千三百七十七圓餘、刻煙草五十五貫、二千六十八圓餘、價額合計六千七百十五圓七十二錢なり而して一月以降は累計の口付紙卷煙草二百五十五圓、兩切紙卷煙草三萬二千九百三十圓、葉卷煙草一萬八百四十一圓、刻煙草五千七百九十四圓、價額合計四萬九千八百二十二圓四十五錢にして前年同期の四萬四千七百九十六圓八十八錢に比すれば五千二十五圓餘の增加を示せるも、之れを同期間の輸移出價額十六萬一千百二十四圓四十錢に比せば十一萬一千三百餘圓の差にして漸く其の三割強に過ぎず

◎忠北蠶業獎勵

忠北道當局にては今回新たに蠶業獎勵のため明六年度より五箇年計畫に諸施設をなし現在の約四倍に相當する約一萬石の產繭を得せしめん方針なり其の計畫の大要を記さんに

▲桑苗植栽　道內に四十四年以降本年度迄に配付したる桑苗は總數三百九十萬本に達し居るも手入れの行屆かざるため成績良好ならざるが要するに未だ一般に蠶業の有益なるを會得せざるに依るものなるべければ今後極力蠶業思想の啓發をなすと共に年々約百萬本宛の桑苗を購入植栽せしめ各郡面毎に共同事業として桑苗木の仕立をなさしめ一方各地に簡易なる栽桑育成傳習會を開き仕立方法を一般に熟知せしむることゝし遲くも大正八年度以降は全部忠北產の苗木を植栽せしむることゝしたり

▲蠶種製造　明六年度に於て一部分の蠶種製造をなし七年度より貯藏所を設けて所要蠶種の全部を生產せしめ又養蠶其性質上今後は毎年二三箇所宛の女子蠶業傳習所を開設して從來無爲徒食の鮮婦人に相當したる家庭內の職として養蠶をなさしむる方針を採り一般作物に對する勞力の減耗を防ぐことゝしたり

▲稚蠶共同飼育　從來道內八十箇所の稚蠶共同飼育所を每年數十箇所宛增加して十年度に於て約二百五十箇所を設けしめ且つ從來乾繭として行ひつゝありし成繭共同販賣を今後は全部生繭にて取引することゝし道內にて交通至便なる箇所を選定して共同販賣所を設くることゝしたり其他各郡に

▲蠶業組合　を設けしめて飼育者相互の福利增進を圖り現在の教師一名を三名增加して指導獎勵の實を擧げしむることゝなしたる由既に明年度施設準備に着手しつゝありと云へば今後數年を出でずして忠北の蠶業は著しき發達を見るに到るならん

◎全南本年の稻作

本年全南の稻作付反別は未濟のものもありて未だ正確ならざれど十二日道廳の調査によれば同日迄の作付反別陸稻六萬四百三町步水稻百卅五萬四千二百五十五町步にして昨年の作付反別は水稻十三萬六千五百三十五町步陸稻二千六百四十町步にして水稻は約八厘減退し陸稻は十二割八分七厘を激增せり之は要するに水害の爲め稻苗腐蝕し或は植付不能となれる水田を生じたる爲め勢ひ陸稻の作付を多からしめたるもので未だ挿秧未濟のものもあれば多少は增加するに至る可

◎全南棉作狀況

全南本年の棉作は發芽當時は氣候も晴雨共適順なりし爲め平作以上の見込み立ち居たるが目下約七八寸乃至一尺二三寸に及べるも降雨多くして發育上支障なしから當局に於ては大いに憂慮し郡內に於ても幸ひ病虫害は尠なく僅かに高せるも炭疽病多少發生せるのみなれば若し降雨後適度の天候を見るに至れば平作以上なるべしと

◎平南蠶繭賣數

平南里道の大正五年春蠶原紙掃立數は三萬八千六百十七枚にして收繭量九千五百五十一石之を前年即ち大正四年の春蠶掃立數三萬三千二百七十四枚に比較すれば五千三百四十三枚を增加し尙收繭量八千五百六十石に比較すれば一千[illegible]五石の增收なり而して此等蠶繭の販賣方法に付いては何れの地に於ても郡に於いて評價し販賣するか又は郡に於て評價定量し之を商人に賣り付くるか又は商人立會の上郡の斡旋によりて販賣するか又は商人を郡に召集して競爭入札に附すかの方法を取り專ら地方養蠶家の爲便宜と保護とを與へ居れり

◎糧秣乾草二十萬貫

京畿道本年の陸軍糧秣乾草は約二十萬貫を得る見込みにて本年よりは各自農民をして直接陸軍の買收に應ぜしむることゝなり畜產組合之れが斡旋を

◎地方土地調査委員會

七月中に開會すべき各地方土地調査委員會は左の順序に開會する事となり居れるが各道共に土地調査局高等官若くは判任官臨席度府には多分和田總務課長出張すべしと

七月十日忠州郡(終了)▲七月十七日論山郡[illegible]廿日長水郡廿一日扶安郡(以上全北道廳にて)▲廿日居城郡同城南郡廿一日河東郡(以上慶南道廳にて)▲廿日谷城郡(全南道廳にて)▲十七日殷栗郡(黃海道廳にて)

◎六月末在監囚徒數

六月末に於ける朝鮮在監囚徒は受刑者內外人合計九千九百四十六人刑事被告人同上九百二十八人勞役場留置者四十八人合計一萬零九百十四人にして前月に比し受刑者に於て九名勞役場留置者に於て四名を增加せしも刑事被告人に於て八十五人を減せる爲め結局七十二名の減少となれり尙ほ內地人の在監者は合計九百十九人なりしと

人事消息

▲柳田貯銀總裁　十六日朝南大門發東上の豫定

▲關屋學務局長　十六日朝京釜線南大門發

▲岡京城電氣專務　十六日入京の筈

▲今全北長官　十六日入京の筈

▲大須賀軍人佐外十四名　入京中の處十六日夜退京

▲アゥン氏夫妻▲エメリー氏(以上米人)　十五日夜入京朝鮮ホテルへ

◎南言北語◎

今日は烏渡支那の方面を覗いて見ると相變らず難問題は南北融和で非常に誤駄々々つて居る▲南方が中央政府に對する要求は全く駄々ッ子で彼れも不可ぬ之れも不可ぬと駄々る處は手におへない其處で北方の小父さん連も立腹して云はしてやれば言ひたい放題な事を云ふ其れなら考へがあると眼を剝いた▲まあ〳〵さうしては折角の處だからならぬ勘忍するが堪忍ぜやと總統が兩手を擴けて待つた〳〵▲と云つて居ると武斷派の連中は何うも段國務が南方の主張を容れ相だ可ッ容るなら容れて見ろと睨み付ける▲イヤ何うも困つた事だ駄々ッ子と頑固な小父さん相手の仕事と來ちやあ一寸と通りや二た通りの骨折れぢやあるまい▲例の蒙匪巴布札布は愈々洮南に迫つたらしい▲海龍縣でも巴軍と相應じて宗社黨と馬賊が現れた▲之が討伐に苦心して居るのは鎭守使の吳俊陞だ▲吳は排日の親玉で却々頑固な男であるから巴布札布とは好取組である▲彼は滿鐵にさへ乘るを屑しとせず近頃迄鄭家屯から奉天迄百餘里の道を汗馬に鞭つて往復して居た▲恐ろしく強情ッ張りの男だから蒙匪との喧嘩は面白い▲併し洮南と海龍城が陷ると奉天の雨亭老爺も悠然として居る譯にも參るまい▲日露協約の祝賀會でもやつてゆるり見物致しませうかね

夏の頭腦の使ひ方と腦神經

■病氣の治る治らぬは此用意から
■腦力の增すと減るとは此注意から
■酒好の人煙草好の人に夏の用心

■季節の及ぼす腦神經病

季節で言ふと春と秋は、節調に頭腦を使つても割合に故障が起らないが、嚴寒と盛夏の候には少し無理をしても直ぐ病を起し易い。是は嚴しい氣候と戰つて生存する爲に知らず識らず多大の力が要るからで、斯ういつた力の使用は直ぐ腦や神經に波動を及ぼすからである。

■夏に起易い頭痛と眩暈

其れが何ういふ形で體に現れるかと云ふと、無論種々あるが、夏に起易い頭痛と眩暈は其一つである外へ出て赫とした日光に會つて、頭と眼がくら〳〵する氣持、務へ事でも續けると重い頭が旋て段々痛んで來て時には腦貧血や腦充血を起して卒倒する樣な場合もある。

■夏の便秘と逆上と不眠

夏は亦概して食物が不味くなる。其丈腸胃の働きが鈍くなつて食慾が減ずるのである。働きが鈍いから腸胃は直ぐ害される。其が下痢又は便秘となる。便秘には逆上、眩暈が伴うて腦神經へ惡い影響を及ぼす。不眠が兎角斯うした場合に來易い。不眠程腦神經に及ぼす害の甚しいものはない。實に腦神經の大敵である。

■夏と腦神經の衞生

右の樣に夏時は腦神經が冒され易い時であるから、腦神經の衞生に注意す可き條々を言ふと、夏は春や秋より腦を疲勞させぬ事、卽ち仕事に疲れぬ中に少し宛休息する事が肝要である。最近瑞西の某中學で四十分教授して二十分休ませる事にしてから生徒の成績と健康が非常に良好になつたといふ實例がある。又頭痛や逆上の因たる便秘は直ぐ治さねばならぬ事、早寢早起、適宜の運動、食物の注意等は言ふ迄もない。

■若冒された場合には

斯う萬事に注意しても、睡く、懶く、氣が鈍り、元氣が無い……と云ふ風に若しや腦や、神經が犯された場合には、打捨て、置けば漸次重くなる計である。遂に『島村醫學博士說明』の腦神經病特効藥として世に高名い『健腦丸』を服用する事をお勸めする。同劑の効果は一度服用した患者の實驗せらるゝ處である。

■飲酒家喫烟家の注意

『健腦丸』は關西に於て最も設備の完全せりと傳へらるゝ丹平商會製藥場で、專門の技師、藥學者達が最新の藥學上の研究を盡して調製せられた者で、腦病藥として他に類のない特長がある。殊に腦神經病の微候たる頭痛、眩暈、逆上、便秘は勿論不眠症、神經痛を快治し殊に卒中、中風抔の發り易い飲酒家の持藥として、逆上や腦の昏迷を誘い易い喫煙家の常用藥として各種の疾患を未發に豫防し頭腦を明快に――記憶力を增進する特効があるから、飲酒家、喫煙家は殊に夏季に於て『健腦丸』を離らず常用せらるゝがよろしい。

■頭腦を使ふ人の注意

それから今一つ非常に大切な事は常から頭腦を劇しく使ふ人々は、腦の疲れ易い、神經の衰弱し易い夏季には、是非持藥として少量宛『健腦丸』を常用せらるゝ事である本劑の成分中には血液の循環をよくし、便通を整へ、逆上を引下ぐると同時に腦神經に必要なる營養分を補給する機能が含まれてゐるから、常用者は腦の疲勞を恢復すると同時に益々身心を健全にする効力を全うせらるゝであらう。藥價は四回分廿錢から十週分五圓迄、種々あつて、全國は素より海外の各藥店で販賣してゐる。若し遠隔の地で賣切れ杯の場合は大阪心齋橋通又は東京日本橋區箱屋町丹平商會へ注文せらるゝがよい。此廣告を見られた方はスグ一週分をお試あれ服用して其實効が解ります

鮮鐵懷舊

◆鮮鐵の活字引と稱◆
◆されし村瀨鐵次郎氏◆

◇鮮鐵道の活字引と稱せられた副參事村瀨鐵次郎氏が今回鮮鐵道を去つて歸東すると云ふので朝鮮鐵道の歷史話を聽く、氏は明治三十一年内閣鐵道局時代から鐵道事務に關係し明治三十有七年渡鮮、日露の役に軍事輸送に關係し大陸の激務をやつてのけたと云ふので現第十九師團參謀長の如きは得難い物として大に推稱してゐる、今回鮮鐵を去るは朝鮮鐵道の爲めに一敵ずべき事である

明治三十九年鐵道國有法により京釜鐵道買收に當つて統監府鐵道管理局事務官として初めて渡鮮草梁に上陸したのが七月の十四日だつた其恰度十年目の今日七月十四日役所の机と椅子を片付けて來たが實に

▽感慨無量 なるものがあつた初めて辭令を貰つて統監府の制服を著て東京の市中を歩るいてると彼方から來た一隊の騎兵が僕の前でピタリ騎行を停めて敬禮したものだ續いて新橋の驛で横須賀から來た水兵の一群に同じく敬意を表された其原因は京釜鐵道の跡にやつて來たが當時は伊藤統監時代で人も知る

▽古市公威 博士を長官とし現大屋長官の總務部長兼工務部長と現京城電氣專務の運輸部長と云ふ岡の諸部長と共に草梁の官舍に居ると毎日の樣に朝鮮人が土地を賣りに來る坪四五厘位の値で中には一村二村と村全體を買つてくれなどと云つて來る奴もある少し買込んででも置いたら今頃は

▽大分成金 に成つてゐたかも知れないと殘念に思ふ京釜線買收の事が終ると翌四十年には初て京城に來た京義線が營業狀態と成り其後岡部長の下に主任課長、營業課長と成り轉々したが當時の京城は今とは比較にも成らぬむさくろしさで南大門の驛を下りて一歩市中に入ると同時に異臭は鼻を打つたものだ道も惡くて雨でも降らうものなら泥濘となつた全く其名の通りの泥峴街あたり四十年の八月例の陸軍兵解散の

▽暴動の時 など解散兵が南大門から打ち出す速射砲の彈丸が西小門の官舍あたり迄飛んで來たりした其時の鐵道は非常な混雜で避難民や其荷物やらの爲めに一週間も十日も徹夜した朝鮮鐵道もそれからは京義線の改修鴨綠江の架橋と云ふ順序で安奉線と完全な聯絡が出來てからは歐亞聯絡の第一要路と成り

▽一新紀元 を劃するに至つた何でも草梁にゐた時代だつたが一日の收入は漸く六七千圓位だつたので『朝鮮鐵道も一萬圓に成つたら大に御馳走してやるがなあ』と大屋長官がよく言つてゐたが今日一日の收入二萬五六千圓を對比して全く隔世の感がある何分京釜鐵道時代には事故も多く規則と云つても簡單なものがあつたきりで頗る雜然たるものであつたが一に大屋長官の指揮命令よろしきを得て遂に今日の完成を見るに至つた譯である思へば深い感慨もある

鐘路夜市

今月十八九日頃より愈々開市

京城にて内地人市街の太平通の夜市が開催され頗る賑ひ居れるも朝鮮人市街には何等の催ほしもなく殊に朝鮮人商家にては夜は八九時より店仕舞をなし所には錠前を下して住宅に引つ込む習慣なる爲め市街は

▽宵の内より暗闇 となるより朝鮮人側の有力者間には早くより問題となり尚松井鍾路警察署長の如きも大に此擧に助力を與へ來り現在にては表通りの相當の店舖には軒燈の掲出を爲し稍市街の面目を改め來りたり之より先き子爵趙重應、洪淳錫の三氏工、銀行頭取白完赫及び黄宗錫の三氏發起者となりて鍾路二丁目電車交叉點より以東パゴダ公園に至る間に夜市を

▽開催する計畫 を立て之が出願市方に就て其筋に出願中なりし所愈七月十五日を以て許可されたり市場區域は前記の區間即ち鍾路二丁目の南片側とし各家並の前一間半を離れたる人道と定め其延長は二百三十六間なり商品の陳列棚は約四尺幅を限り高さは二尺内外とし又は地上に配列するも隨意とし今年は

▽十月末日迄毎夜 午後七時より午後十二時迄開催することゝなれり愈々の開市は多分本月十八九日頃となるべく目下代表者關係者の間にいろ／＼準備中なるが初日は廣橋、茶洞南組合の妓生總出にて關係町筋全部を練廻りパゴダ公園にて解散する筈なりと

自動車に落雷

陸軍自動車隊の厄難

十二日東京を出發したる陸軍省自動車隊は高崎に至る間に於て神流川の假橋にて橋板三枚を折りたるが他に別に故障もなく高崎に著し翌十三日午前七時高崎出發碓氷峠に差し蒐るや豪雨沛然として到り第六號隧道に差し蒐りし頃は豪雨益々激しく六臺の自動車は一時立往生の已むなきに至りたるも破損を修理しタイヤーを取り替へ午後六時漸く熊平に到著したり翌十四日午前五時熊平出發輕井澤に向ふ途中第二號荷物自動車は第十號隧道附近にて橋梁を破り乘組員一名後押のスコープと共に崖下に墜落したるも幸に負傷なく多數人夫の應援を得て漸く引揚げ同時に在鄕軍人消防夫出動し道路橋梁の修理を行ひ午後一時漸く通過することを得たるが今度は間もなく大雨に遇ひ前程數町の所に至り折柄の豪雨に泥濘を極む道路は雨の爲めに破壞され進行一層困難となり午後四時上信國境を距る一里の處にて第二號乘用車は遂に機械を損じ應援隊は之を引づりて峠を越へ第二十二號隧道迄進行せるに先頭自動車は後輪を橋梁外に外し又復大騷ぎとなり撤消引揚げに從事したるも十五日朝迄には未だ輕井澤には到著の報なし(十五日特電)

東淸鐵道工場燒失す

哈爾賓東淸鐵道工場は近頃米國より多數の機關車輛を購入し多數の職工を傭入れて其組立に著手中の處去る六日原因未詳の火災の爲めに既成未成の車輛其他諸材料を燒失したり之れが損害約七十五萬留に上る由

珍しい暴れ男

京城黃金町三丁目飲食店梅鉢事山口縣厚狹郡船木村生れの梅津伊三郎(三六)は詐欺、竊盜、姦通等の前科三犯を有する男なるが十二日は早朝より自宅にて泥醉して裏の離れ座敷に寢轉び居る處へ高陽郡龍江面血脈里の魚行商張劍(三〇)が賃掛代金の取立に來り家人と雜談中突然跳起き張劍の左肩目蒐けて有合せたる舟底枕を投りつけ蹴り蒐りて右手上膊部に咬みつき治療五日を要する創傷を負はせたる上拳骨にて同人の面を强か毆り飛ばしたる騷ぎに附近交番巡査驅付け本町署に引致したるが取調べの上檢事局へ送らる

各小學校水泳

西氷庫へ臨時列車運轉

西氷庫に於ける夏季水泳の爲め櫻井、日之出、龍山、西大門、鍾路、元町の六小學校職員及び生徒約八百名に對し鐵道局にては中學生同樣臨時列車を運轉し汽車賃割引を爲さしむる事と成りしが期日は八月一日より二十日迄にて賃金は南大門よりの往復六十五錢、龍山よりの往復四十五錢也と

居直り强盜

十一日夜半頃府内齋洞市街の某方に一名の鮮人泥棒忍び入りたるを家人が發見して騷ぎ立てんとせしに泥棒は忽ち强盜に居直り家人を脅迫して衣類數點を奪取し逃走したるが本町署にて嚴探の結果該犯人を逮捕したり

出漁中難破す

去る六日慶尚南道麗水港を距る海上三十哩の沖合萊島附近に於て麗水延那移住長崎縣大石久三郎所有打瀨網出漁中折柄西の風激しく遂に難破せるが乘組員は悉く救はれたり急報に依り麗水警察署より官船警備船に乘じて現場に向ひ小船二隻を使用なし風波の中を賊はす錨綱外數點を得たるも船體は未だ不明なり

(上)浴場の大錦 (下)居間の栃木山、將棋の相手は兒島洋『中央』が大門岩

□五八男と出羽海

回『相撲好きの五人男といふ課長方に一寸挨拶して置きたい』と十四日午前總督府に政務總監、兒玉伯、それから寺內知の關屋局長などに挨拶を濟して出羽海が第一番に飛込んだのは大塚第二課長室。

回時ならぬ怪物の奇襲に多少態かされた大塚さん上衣のボタン撥き合せての御挨拶には出羽海の方が却つて恐縮の態だつた。

回『總督府は下から見たよりは馬鹿に廣いね』とは感心してかそれこそ引除の段梯と廊下傳に、痩せても三十三貫の図體運搬に疲れてか、兒玉伯に角第二番目に青木商工課長の室を訪れた。

回『此間は臺灣で失敬』を切つ掛けに『若いね』『若がんす』で早速意見が合ふ。——此時ばかりは二十二貫の青木さんも甚だ大きくは見えなかつた

回青木さんが『栃木の角力振りはうまく眞面目じやないつていふ評判だ』とやり出すと出羽海は『野郎共には堅くいて付けて置いたんだが…若し怠けたら上の者でも何の者でもドシ／＼除名することに言ひ渡してあるんだから……奴等が發つ前にも一同を柳光亭に集めて、外の部屋とは違つて此部屋は模範部屋にならなければならねんだからつて訓示をして置いた……それで怠けられては柳光亭の勘定の出所がないといふもんだアッハッハッハー』角力より外に藝はない奴なんだから角力をいゝ加減にしてお客様を賭するなんて不心得千萬な話だ。アッハッハッハッハー——

回殘る生田水產、村田鑛務は前日から地方出張、入見農務は洋行準備に東上中で不在、傳言は一切青木さんに賴んで出羽海は暇を告げた

□部屋の人

風呂場の大錦
栃木山の將棋

朝から根よく降りつゞいた雨は午後三時過ぎになつて晴れた。何んだかまだ降り足りなさうな

▽空模様を睨み ながら力士の宿屋を訪ねて見る。清光舘には對馬洋も兩國も九州山も小常陸も居る、二階の廊下を歩いてると大錦に會た『一風呂浴びやうと思つてゐた所だが、まあ一服していてなさい』といと廣い部屋へ通して呉れる、座敷の床の間には例の天杯だの扇だのいろ／＼飾つてある『之れが僕のゐた學校の紋です』と大關の指すのを見ると成程直徑五寸もあらうかと思はれる大きな徽章がある

▽星形に天の字 が打ちぬいてあるのは直ぐに天王寺中學のそれと讀まれる『風呂場の寫眞でも撮りますかね』と言へば『エ、宜しい、面白いでせう』と座を立つ光風と常近摩が手拭と團扇を持つて後に隨がふ浴室の四角な湯舟に下半身をどつぷりと浸すといゝ心もちさうに眼を閉ぢたが『オイソツ倘にエツトブラシを持つて來い』と怒鳴ると別の弟子がブラシを二個持つてやつてくる

▽四人掛で洗ふ のでは如何に三十五貫でも捗るだらう、弟子が寫眞に撮るのを嫌ふのを『寫れ寫れ、お前達が出世したら、こんな時代もあつたんだと好い記念になる、その時には俺が又言ひ聞かして遣る』と笑ふ、小山の樣な大きな體を一人には嫗が三人に流させるのは見てゐても、痛快なものだ。轉じて原金旅舘へ行くと綾川を始め宇都宮、紫雲龍、龍ケ崎何れもゐない、宇都宮は昨夜から歸つて來ないといふ、二階には一港

□大相撲スケッチ(其一)

□大相撲スケッチ(其二)

▽大門岩兒島洋 男島などがゐて取的と盛んに花を引いてる。『負けた奴はブン毆るんだ』とばかり兩方ヤンヤ——イが怖くて逃げ出す奴は廊下中追ひ廻してやつつける、頗る無邪氣で罪が無い。三階の一室では栃木山が一人雨の降る日を何處へも出ずに閉ぢ籠つてゐる『餘り睡いんだから横になつたら今まで知らずに寢ました今起きたばかり——』と

▽眼を擦つて ゐる。いろ／＼の話しをしてゐる所へ下から大門岩と兒島洋がやつて來た、兒島洋が『一此の間散々敗けたから今日は敵打ちた闘取一丁願ひます』と駒を配列する大門岩は熱心に見物する、栃木山の將棋はその相撲振りに似てジリ／＼と先づ己れの備へを固めてかゝる堅い差し方だそれで敵の透きを見出すとグン／＼飛車角を突込でゆく、敵の備へを突き崩しても

▽己れの守りを忘れない 所に栃木山の面目が躍如としてゐる、勝負は兒島洋の勝となつたけれども、之を土俵の上と對照して考へた時、さまで大兵と言ひ難い體を持ちながら剛勇の名を擅にしてゐる輕い疑念が解けた、栃木山は敗けても嫌な顏もせず默つて二番目の駒を並べてしまつて『さあ』と言ひながら窓外に眼を移した、何時の間にか空には青空が見わて午後五時の日が庭の樹の梢に輝いてゐた。

讀者文藝 (一等には五十錢の郵便切手を呈す)

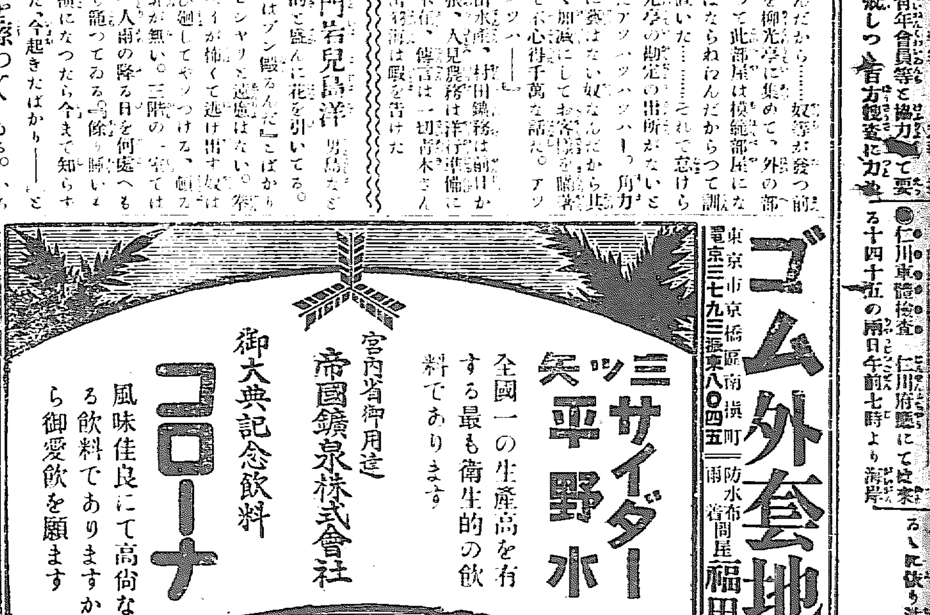
▽物は付『思ひ出すものは』

○傷持つ脛(一等) 群山全州通り 中根吐虹
▲失敗後に親の遺言 館山 園京新
▲行燈に殘せし針の穴 京城 思外
▲勘當息子『先祖』 沙里院 一列流
▲刻限の食事 仁川 葛郎
▲苦しい時の神佛 龍山 園山入
▲子指の結つた糸 龍山 小草子
▲蔵つて置いた御馳走 義州 奈太郎
▲恩賜の銀時計 京城 奇諤
▲幼な馴染 深川 緋醍

一口噺題懸賞 締切十五日 發表十七日
前句付『泥出しと掛けて』 同十六日 同十八日
謎題『土用干』 同十七日 同十九日
俗謠『湯女』 同十八日 同廿日
川柳題『師』 同十九日 同廿二日
次回物は付『痛快なものは』 同廿一日 同廿三日

御大切の書畫骨董には ゼヒゼヒ 藤澤樟腦を お入れ遊ばせ
登錄商標 藤澤樟腦
定價 大形金十二錢 中形金七錢 小形金三錢五厘 碁石形 大鑵金五十錢 小鑵金十錢 各地藥店小間物店にあり
代理店 京城南大門通り二丁目 新井藥房

京城永樂町二丁目(商品陳列舘裏門通) 酒井婦人病院 入院隨意 電話二六〇〇番


宮内省御用達 帝國鑛泉株式會社 御大典記念飲料 コローナ 風味佳良にて高尚なる飲料でありますから御愛飲を願ます
三ツ矢 サイダー 平野水 全國一の生産高を有する最も衛生的の飲料であります

ゴム外套地 ●防水布雨着 其他雨具一式 見本附定價表無代進呈
東京市京橋區南槇町 防水布雨着問屋 福田豐三郎商店 電話京橋三七九三 振替東京八〇四五

下關輸米精況 …極めて緩漫なり而して市場は農繁期にて出市人員の減少等あるに起因すべきも最近盛んなる輕鐵… 額十六萬六千三百圓爲替仕向け二萬… 午後七時北漢江石狩間雨龍郡北龍村士工組合請負工事請負人坂井與平の… し消防夫、青年會員等と協力して要所々々を警戒しつゝ官方搜査に力め…
●仁川車體檢查 仁川府廳にて來る十四十五の兩日午前七時より海岸…

女鳩

渡邊默禪

『四六』小夜嵐

十時になると鳩子は先に寢て了つた。千代子はまだ枕につかずに、薄暗い洋燈の下で歐文雜誌かなにかを見てゐた。大野は勝手の爐に燧りながら、お花を相手にごれ〳〵の話をしつゝ、只管に源作の歸るのを待つてゐた。

『大野君』と欠伸の音がしたかと思ふと、座敷の方から千代子が頻に呼んだ。『遲いのう、怎麼したんだやらう』

『は』と爐邊にころがつた大野は急いで起揚つて『どうしたんですか、遲いことです。今もお花さんとその話をして居る所ですが、今夜は事に依ると、山に泊ることになるかも知れんといふことです』

『泊る？山に宿屋があるのか』

『いや』宿屋なんか有りはしませんが、朝日嶽の上に神社があるんですが、其處までは迚も登り切れないから、五合目の二の鳥居前にあるお籠堂まで行つて、天狗さまに願掛をするんだとか言つてたさうです。で、倘しも天狗さまが承知をしてくれなければ、承知をするまで其處にお籠りをする決心だから、遲くなつたらその心算で居ろと、こんなことを言置いて出かけたさうです』

『はゝア、大變な氣込ぢや。すると今夜は歸らんかのう』

『と思ひますが、兎も角最う少し待つて見ることにします。貴君はどうかお就寢くださるやうに』

『左樣か。ぢや先に臥せるとに爲よう。戻つて參つたら直ぐと知らして呉れい』

『承知しました』

お花は立つて行つて、敷いてある寢衣を着せ換へたり、夜具をかけてやつたりしてから、火鉢の火を埋めて、洋燈の芯を沈めて、

『御寛りとおやすみ遊ばせ。』

とお辭儀をして勝手へ下つて來た。大野は遠くなつた目をぱち〳〵させながら、

『花ちやん。今夜中に歸つて來なければ、明日の朝僕と金作と二人で出かけて見ようかね。これなり打棄つても置けまい』

『然うですね。妾なんか何とも思つてゐない人ですけれども、年を老つた體ですし、それに一食だけしか持つていかないんですから、實は心配で堪らないんです。あんなお籠堂ぢや、ろく〳〵焚火も能きないんですもの』お花は眉を皺せて言つた。

『然うだよ。まさか凍ねるやうなことはあるまいが、垢離をとつたりして無理をするんだからね』

ひそ〳〵と話してゐるうちに、峰から墓地に颪して來る暗の息吹が、さながら怒濤の如くごうと後の松林を蹴つて、人の世を呪ふやうな物凄い唸をあげつゝ、北手の窓をばた〳〵と搖ぶり立てゝ、牛小舍の棟を劈くばかりに掠め去つた。

『あら、風が出て來ましたわ』お花は氣つかはしさうに目を欹てゝ障子の方を見た。

『む、又荒れるかね、こりや』大野は呟くやうに答へたが、腿枕にのせた頭を擡げ得なかつた。

『貴君、お睡くゐらつしやるの』

『いや、なに……』怠うい口ふ下から、ぐう〳〵と鼾をかき始めた。

『お床を展べてありますから、彼方にいらつしやいましな。よう、坊つちやま』お花は輕く搖ぶつたが最う返辭もしなかつた。

傍に投出してある鐵側の袂時計を見ると、短い針が十二時の所へ來てゐた。爐の榾はたよりなく燃附つくして、めら〳〵と紅い舌を吐く。

『どうしよう、寢ようかしら』

お花は長い火箸をとつて灰をかきならしながら、一人で木菟然と風の音を聞いてゐると、滅入るやうな寂しい思が胸にひた〳〵と湧いて出た。

途端に表の軒下でカラン〳〵と草履の響がした。同時にごそごそつと人の足音らしい氣配がする。

『あツ、何だらう』

お花はふいと起直つた。

ぬしはキヤラメル 坊やは千菓子 妾しやアンパン木村屋の (京城明治町 電二八七〇)

上野醫院 内科外科 花柳病 入院隨意 南米倉町朝市場通仁濟病院跡 電話二九三四番

新刊紹介

▲一大帝國『臨時增刊私娼撲滅號』一度東京及び大阪に其の烽火を擧げて以來私娼撲滅の聲は今や之を聞かざるの處なきに至れるに當り本誌は卒先して之に徹底的解決を與へ其の救濟策を講ぜんとしたるもの橋本社長、西久保警視總監、大隈伯、江間、山根、鶴山各代議士其他諸名士の論旨見るべし(十六錢東京市芝區琴平町二其社)
▲コニシタイムス(一二)定價不詳東京市日本橋區本町二小西本店
▲日本國教大道叢誌(三三七)十錢東京市小石川區關口町九〇其社
▲大日本新聞(三〇)五錢麴町區有樂町一の四其社
▲愛知縣商品陳列館報告(六三)五錢名古屋市中區門前町其館
▲衛生新報(三の一七九)五錢東京市日本橋區新材木町一四其社
▲東華評論(一〇の二一)十錢北京東城船板胡同二六其社
▲金泥(七月號)八錢東京市日本橋區通油町一九其社
▲名古屋商業會議所月報(六月)定價不詳名古屋商業會議所
▲新國民(七月號)秘密の地下室は十六圓を乘れ、旅伴へは鞋を告ぐ(十五錢東京市神田區駿河臺袋町大日本中學會)
▲生活の力(四七)一錢東京市京橋區木挽町六の一〇其社
▲時代評論(七月號)十錢神戸市下山手通七の三八二其社
▲紙の世界(九三)五錢東京市小石川區目白臺町其社
▲カラタチ(七月號)月斗、果、花蔭、大我、白花蛇、鳳八一派の新傾向俳句漫語、夏の句を載す(二十錢大阪市西區土佐堀通北三其社)
▲園藝之友(七月號)梨の肥料、果樹開作の除蟲劑、花物に就て、多年草花實驗及年中行事(二十錢東京市本郷區湯島町日本園藝研究會)
▲婦人週報(三の二八)氷入らずの冷藏庫は簡便好き(四錢五厘東京市牛込區市ヶ谷田町二の一七其社)
▲朝鮮農會報(一一の七)論説には農業界の危機『宮原忠正』あり、叢話には引き續き朝鮮に於ける果樹、病害『中田覺五郎』朝鮮土壤改良論『三浦宏明』及朝鮮の巨樹名木『押場定吉』蠶繭の作り方等あり其他抄録、統計、法令農界時事朝鮮在住農事經營者に必須缺くべからざる記事を收む(二十錢京畿道水原郡日新面高等農林朝鮮農會)
▲日本評論(七月號)洪水以後の政界也、主盟矛原駿一山君米に再遊せんとするに當り『日本評論の發刊に際して』『泣いて現代の先覺と青年に訴ふ』の二篇は情誼を陥す快文字にして山縣公退隱後の政界如何は政界の一面を觀ふべし(二十錢東京市神田區駿河臺鈴木町一元社)
▲滿蒙研究彙報(參考號二號)滿蒙に於ける社會狀態及び各種產業を調查研究せる彙報にして參考資料、時事、交通、鑛業、商工の各彙報欄より成る内容豐富調査精密同地方の事情を知らんとする者には無二の好資料たるを斷言す(會費月三十錢旅順乃木町其會)

讀者の領分

▲本町の郵便局附近の或紙屋では相撲の話に店員が夢中になり、お客樣は其方のけ、許ならまだしも品物の代を聞く度に代價を違へるなんて餘り夢中になつても困るではないか(狀袋生)
▲一時大分論戰があつた近隣の音樂問題が此頃の南で僕の隣で又た持ち上つたやかましくて仕方がない早く轉宅してもらいたい(大和町生)
▲今回自轉車取締り嚴重云々と貴紙に記載しあり京城在住者は申すに及ばず鑑札を受け可きも他の地方田舍より京城に出て自轉車を都合にて『旅行の一持ち上京する場合は無鑑札なれば市中にて乘車する事出來不申候や二三日なり四五日なり滯京する者は如何の者なるや御敎示を乞ふ(田舍者)
▲京釜線永同驛は邑内と續き居り相當日本人も入り込み支那人其他商業を營む者あり附近には金鑛も相當あるが永同には銀行無き爲め金員の發送受取等金融上には郵便局あるのみ爲替受取發送なるも不便此上なし實に永同人及び地方人の迷惑一方ならず何とか方法も無之候や(同地總代)
▲去る三月末京城古市町の飼犬が狂犬病に罹りて附近某の子供に咬傷を與へ犬は全部撲殺せられたる事は其當時の京日紙上にて承知して居たが咬まれた方では損害四百何十圓かを要求し辯護士を賴んで裁判に訴へて先月十五六日其第二回の公判があつたが未だに解決しないさうだ各愛犬家はこんな事が無い樣に自己の畜犬が狂犬病に罹らない樣に注意が肝要(オセツカイ)

宮内省御用 最上清酒 日本一 マルカンシ印 電話二四五番 日本醬油株式會社 京城出張所 京城太平通二丁目

りん病 特効新藥 淋渦で困る方 多年の慢性も治癒す 良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ 自宅にて人知れず安全秘密に其良藥と自宅療法の詳細を報す 名古屋市南かじや町 武藤亀吉

かつけ 特効新藥 陸軍一等軍醫正 ドクトル都築甚之助氏發見 日、米、獨、墺政府專賣特許 アンチベリベリン
▼用法は……内服と注射
▼目的は……豫防と治療
▼常用は……萬全の上策
▼注射は……衛心の一救急
▼適應は……かつけ一切
定價 說明書送呈郵券二錢 發賣元 東京市麻布區笄町 南信堂藥局 代理店 京城本町二丁目 木下不老堂

衛生必携品 ルーデサック 欺瞞的の粗悪品を以て暴利を貪る者と異り品質は至つて堅牢永久に責任を負ふ A十個一圓 B八十錢 廿五錢 女用一個 八十錢 廿個以上一割引 郵券代用一割增外に要送料 京城黃金町三丁目 振替京城三二七番 山川文殊堂藥房

目ニ見ヘテ ズンズンドキク シユマズイタマヌ 井上博士ノ ロート目藥 眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の爲に惡いからロート目藥に消毒した布と、下圖の樣な新案の點眼器を添へてある 定價 全國各藥店にあり 本舖…東京…大阪…山田安民藥房

登錄商標 瓢水味淋 堺鳥井釀 京城本町二丁目 專賣店 前田酒店

新荷著 懐中時計 京城本町二丁目 イングレツシー商會 電話九七二番

虹を見て雨を知る ハンカチを見て 金鶏香水 ツル香水 を知る
鶴香水日本輸入元 花王石鹸關西代理店 大阪 大崎組商會
花王石鹸製造元 鶴香水關東代理店 東京 長瀬商會

七日ツケタラ鏡をどう色白くなるゲンソ液 今東京で大評判の白美の元素色黒き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 小壜二十錢 徳用四十錢 東京和泉橋際ゲンソ液本舖

大學目藥 商標 登錄 何と言つても大學目藥だ 多年苦んだ眼病も大學目藥をさして此通り立派に全快した。惡性の眼病を斯くも手輕に治した大學の効驗は實際驚くの外はない。 各地藥店にあり 大阪 參天堂藥房

仁丹 暑熱に仁丹 口中神身 涼味萬斛 金言 ◎小事を忽にする者は大事を失す(西諺)

營業目錄 罐詰 乾物 海產物 雜穀 洗濯石鹸 漆器 家具 文具、紙 綿、農具 ショベル 金物 陶器 磁器 簾 芦屏風 花莚 荒物 履物 澤庵、茶 昆布 鰹節 酒、石油 乳母車 雨傘 東京簞笥 碁盤 蠅取紙
仁川新町 津田兒弟屋本店 電話七六二番 振替口座京城三八九番
仁川宮町 津田兒弟屋支店
京城本町 津田兒弟屋支店

商況 大阪三品 大阪期米特電(十五日) 仁川米豆取引所
▲依然下落
▲部分解合
▲現物界